

教科名	国語科	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学α	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂『精選 現代文 改訂版』、その他自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標	
4	1、小説二	「蠅」	4	1、「馭者」や「宿場の空虚な場庭」に集まってきた人物描写を整理すると共に物語の結末がそれぞれの人物に与える意味について理解させる。2、「レキシントンの幽霊」の体験を「僕」がどのように受け止めたのかを読み取り、物語世界の奥深さを理解する。	
	2、小説二	「レキシントンの幽霊」	5		
5	1、評論三	「戦争の〈不可視性〉」 《中間考査》	4	1、「戦争」との関わりにおいて人間と社会の質的な変遷が起こった点を読み取り、〈世界戦争〉と人間の条件を改めて問う必要がある点を理解する。2、近代的な市民社会を成り立たせている精神を「である」論理から「する」論理への重点の移動である点を理解する。	
	2、評論三	「「である」ことと「する」こと」	5		
6	1、小説三	「こころ」	12	1、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。また、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。	
7	1、進学・就職対策	自主教材 《期末考査》	6	夏休みを目前に、入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。また、就職対策として、慣用句や頻出漢字の練習をする。	
8	1、進学・就職対策	自主教材	3	実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、就職試験で良く出る四字熟語などの練習と書き取りを行う。	
9	1、評論一	「ブーボー」と「マンマ」の記号論	6	1、「符号」と「記号」の違いを確認した上で、人間の「記号化」「意味づけ」という営みに人間の世界認識のあり方を見、その際の言葉の持つ機能について理解する。2、類義語の用例の分析を通じて意味の違い、使用法の違いを理解し、客観的・論理的な思考方法を学ぶ。	
	2、評論一	サワルとフレル	6		
10	2、小説一	「靴の話」 《中間考査》	5	1、戦場における靴に関わる「私」の体験と見解についてまとめ、「事実」という言葉の持つ意味について理解させる。2、主題である、現代人にとって(あるいは人間にとって)「自由」とは何かという問題について読み取らせ、虚構の話が矛盾に満ちた人間の現実を浮かび上がらせることを理解する。	
	2、小説一	「鞆」	4		
11	1、評論二	「身体〈の〉疎外」	6	1、「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って時代ごとにまとめ、現代がどういう時代なのかを理解させる。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。	
	2、入試対策	自主教材 《期末考査》	3		
12	1、入試対策	自主教材	6	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。	
1	1、入試対策	自主教材 大学入試センター試験	9	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。	
2	1、入試対策	自主教材	12	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う	
3					

教科名	国語科	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学β	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	近代以降の優れた文章や作品を読解し、鑑賞する能力を高めるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を深め、自ら表現し読書することによって人生を豊かにする姿勢を育てる。				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を行って、理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂『精選 現代文 改訂版』、その他自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標	
4	1、小説二	「蠅」	4	1、「馭者」や「宿場の空虚な場庭」に集まってきた人物描写を整理すると共に物語の結末がそれぞれの人物に与える意味について理解させる。2、「レキシントンの幽霊」の体験を「僕」がどのように受け止めたのかを読み取り、物語世界の奥深さを理解する。	
	2、小説二	「レキシントンの幽霊」	5		
5	1、評論三	「戦争の〈不可視性〉」	4	1、「戦争」との関わりにおいて人間と社会の質的な変遷が起こった点を読み取り、〈世界戦争〉と人間の条件を改めて問う必要がある点を理解する。2、近代的な市民社会を成り立たせている精神を「である」論理から「する」論理への重点の移動である点を理解する。	
	2、評論三	「「である」ことと「する」こと」	5		
6	1、小説三	「ころこ」	12	1、お嬢さんとの恋によって変化したKの態度や様子をまとめる。「私」とKの心のありようを読み取る。また、Kの自殺の場面における「私」の行動を読み取り、人と人との間に横たわる孤独と闇、近代人のエゴイズムについて考察する。	
7	1、進学・就職対策	自主教材	6	夏休みを目前に、入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力と、的確に表現できる力を養う。また、就職対策として、慣用句や頻出漢字の練習をする。	
8	1、進学・就職対策	自主教材	3	実際の入試に出題された評論文・小説などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。また、就職試験で良く出る四字熟語などの練習と書き取りを行う。	
9	1、評論一	「ブーボー」と「マンマ」の記号論	6	1、「符号」と「記号」の違いを確認した上で、人間の「記号化」「意味づけ」という営みに人間の世界認識のあり方を見、その際の言葉の持つ機能について理解する。2、類義語の用例の分析を通じて意味の違い、使用法の違いを理解し、客観的・論理的な思考方法を学ぶ。	
	2、評論一	サワルとフレル	6		
10	2、小説一	「靴の話」	5	1、戦場における靴に関わる「私」の体験と見解についてまとめ、「事実」という言葉の持つ意味について理解させる。2、主題である、現代人にとって(あるいは人間にとって)「自由」とは何かという問題について読み取らせ、虚構の話が矛盾に満ちた人間の現実を浮かび上がらせることを理解する。	
	2、小説一	「靴」	4		
11	1、評論二	「身体〈の〉疎外」	6	1、「精神」と「身体」の関わり方の変遷を、論旨に沿って時代ごとにまとめ、現代がどのような時代なのかを理解させる。2、実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意しながら正確に論旨を追える読解力を養う。	
	2、入試対策	自主教材	3		
12	1、入試対策	自主教材	6	実際の大学入試センター試験に出題された評論文・小説・随想などを、キーワードや頻出語、段落相互の関係などに注意をしながら正確に論旨を追える読解力を養う。	
1	1、入試対策	自主教材	9	1、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。2、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。	
		大学入試センター試験			
2	1、入試対策	自主教材	12	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う	
3					

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	本コースは、就職・進学と進路がさまざまであるのが特徴である。そこで、社会に出る時に必要である、漢字力・国語常識に加え、国語総合で学んだ読解・鑑賞・読書の方法の習得を目指し、ものの見方、考え方を深めることが目標である。				
学習内容の概要	三省堂「明解 現代文B」を授業の基本としつつも、漢字・国語常識については、尚文出版「国語必携パーフェクト演習」を用い、読解力・表現力・国語常識を養う。				
学習方法	現代文の読解力を養うために、授業で板書をしながら、生徒に理解させるようにする。また、国語常識・漢字の力を養成するために、「国語必携パーフェクト演習」を用いて、書く力、読む力のスキルアップをする。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂「明解 現代文B 改訂版」 尚文出版「国語必携パーフェクト演習」 尚文出版「常用漢字クリア」 その他自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	文字と語句	基本熟語・難読語 (P24・P25)	3	頻出の漢字の読みに慣れるために、繰り返し漢字演習を行う。	
	随想一	葉桜の頃	6	過ぎゆく日々をいとおしみつつ、周囲の人々とのつながりを大切にすることを考えさせる。	
5	文字と語句	難読語・四字熟語 (P50・51)	3	漢字演習と共に、小テストを通じて、漢字の読解を徹底する。	中間考査
	随想一	蜜柑の受難	6	身近な題材を読み、「人間の心の共通なやさしさ」など人の心のありようを考える。	
6	文字と語句	特殊な漢字・反対語・同音異義語 (P76・77)	4	重要な漢字を書き取ることが出来るように、繰り返し演習を行う。	期末考査
	小説(一)	水かまきり	8	擬声語などで表現された主人公二人の微妙な心を動きを理解する。	
7	文字と語句	表現問題 (P82～P89)	6	書き取りの演習と共に、小テストを行い学力を定着させる。	終業式
8	文字と語句	表現問題 (P90・91)	3	四字熟語や、同義語・対立語などを、内容を説明しながら演習する	始業式
9	評論一	想像する力	8	人間とは何かということ、チンパンジーと比較することで見いだせる、人間の特徴について考える。	
	文字と語句	表現問題 (P92～P97)	4	言葉の由来を確かめながら、演習を行い、定着を目標とする。	
10	随想二	前の駅出ました	6	日常生活での「視点の切り替え」の重要性について考えを深め、具体例の比較から主題を理解する。	中間考査
		進学・就職試験対策	3	過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に漢字を復習する。	
11	評論二	ネット人格	6	ネットワーク・コミュニケーションでのトラブル事例を取り上げ、今後のコミュニケーションについて考える。	期末考査
		進学・就職試験対策	3	過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に熟語を復習する。	
12	小説二	こころ	6	人と人との間に横たわる闇と孤独、エゴイズムを鋭く見つけている点を理解する。	
1	小説二	こころ	9	「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて理解を深め、自分なりに主題に対する考えを深めていく。	卒業考査
2		進学・就職対策 自主教材	12	入学試験対策を行うと共に、就職の生徒に対して語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。	
3					

教科名	国語	科目名	現代文B	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	本コースは、就職・進学と進路がさまざまであるのが特徴である。そこで、社会に出る時に必要である、漢字力・国語常識に加え、国語総合で学んだ読解・鑑賞・読書の方法の習得を目指し、ものの見方、考え方を深めることが目標である。				
学習内容の概要	三省堂「明解 現代文B」を授業の基本としつつも、漢字・国語常識については、尚文出版「国語必携パーフェクト演習」を用い、読解力・表現力・国語常識を養う。				
学習方法	現代文の読解力を養うために、授業で板書をしながら、生徒に理解させるようにする。また、国語常識・漢字の力を養成するために、「国語必携パーフェクト演習」を用いて、書く力、読む力のスキルアップをする。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	三省堂「明解 現代文B 改訂版」 尚文出版「国語必携パーフェクト演習」 尚文出版「常用漢字クリア」 その他自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	文字と語句	基本熟語・難読語(P24・P25)	3	頻出の漢字の読みに慣れるために、繰り返し漢字演習を行う。	
	随想一	葉桜の頃	6	過ぎゆく日々をいとおしみつつ、周囲の人々とのつながりを大切にすることを考えさせる。	
5	文字と語句	難読語・四字熟語(P50・51)	3	漢字演習と共に、小テストを通じて、漢字の読解を徹底する。	中間考査
	随想一	蜜柑の受難	6	身近な題材を読み、「人間の心の共通なやさしさ」など人の心のありようを考える。	
6	文字と語句	特殊な漢字・反対語・同音異義語(P76・77)	4	重要な漢字を書き取ることが出来るように、繰り返し演習を行う。	期末考査
	小説(一)	水かまきり	8	擬声語などで表現された主人公二人の微妙な心を動きを理解する。	
7	文字と語句	表現問題(P82～P89)	6	書き取りの演習と共に、小テストを行い学力を定着させる。	終業式
8	文字と語句	表現問題(P90・91)	3	四字熟語や、同義語・対立語などを、内容を説明しながら演習する	始業式
9	評論一	想像する力	8	人間とは何かということを、チンパンジーと比較することで見いだせる、人間の特徴について考える。	
	文字と語句	表現問題(P92～P97)	4	言葉の由来を確かめながら、演習を行い、定着を目標とする。	
10	随想二	前の駅出ました	6	日常生活での「視点の切り替え」の重要性について考えを深め、具体例の比較から主題を理解する。	中間考査
		進学・就職試験対策	3	過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に漢字を復習する。	
11	評論二	ネット人格	6	ネットワーク・コミュニケーションでのトラブル事例を取り上げ、今後のコミュニケーションについて考える。	期末考査
		進学・就職試験対策	3	過去問等を行い、試験対策に繰り返し練習をする。特に熟語を復習する。	
12	小説二	ころ	6	人と人との間に横たわる間と孤独、エゴイズムを鋭く見つめている点を理解する。	
1	小説二	ころ	9	「私」の心情・思考を読み取り、人間の心や孤独、通じ合うことなどについて理解を深め、自分なりに主題に対する考えを深めていく。	卒業考査
2		進学・就職対策 自主教材	12	入学試験対策を行うと共に、就職の生徒に対して語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。	
3					

教科名	国語科	科目名	古典A	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年 普通科 特別進学α・β(文系)		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	古典としての古文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。古文読解に必要な文法を理解し、古語の知識を身につけ、文章の読解を深めるとともに、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、古典に親しむ態度を養う。					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	東京書籍『古典A』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標		
4	1、古文 物語 伊勢物語 「狩りの使ひ」		4	1、和歌を中心として展開する歌物語の特徴を理解し、修辞法に注意しながら、和歌の奥行きのある表現方法を味わう。2、孟母が学問をどのようなものと考えているかについて捉え、漢文特有の論理について理解する。		
	2、漢文 故事と寓話 「孟母断機」		5			
5	1、古文 物語 伊勢物語 「小野の雪」		4	1、各章段の多様な愛の姿を読み取り、人々にとって和歌を詠むことが人生の中でいかに重要な行為であったかを考えることで、叙情的な美しさを読み味わう。2、莊周が夢の話をする中で何を伝えたいかを読み取る。また、寓話が意味するものを捉えられるようにする。		
	2、漢文 故事と寓話 《中間考査》 「夢為胡蝶」「従違鳥游」		5			
6	1、古文 物語 大和物語 「安積山」		6	1、歌物語としての『大和物語』について理解を深めると共に、恋愛の激しさやそれが招いた悲劇的な結末について読み味わう。2、直躬についての孔子と韓非子の評価の違いについて理解する。また、歴史家の使命について考え、この故事の意味するところを読み取る。		
	2、漢文 故事と寓話 「直躬」「崔杼弑其君」		6			
7	1、古文 物語 とりかへばや物語 《期末考査》		4	1、源氏物語の影響を受けつつ男性らしくない男君と女性らしくない女君がそれ故に巻き込まれる物語を理解できるようにする。2、和歌の修辞法の理解を深め、和歌をより深く鑑賞する力を養う。		
	2、和歌の修辞法		2			
8	1、古文 物語 源氏物語 文学史における『源氏物語』		3	1、『源氏物語』に入っていく前段階として、「家系と人間形成」「源氏物語」の創作とその世界」などの視点から、作者と物語への関心を深める。また、王朝文学の最高峰とも言える作品世界への理解を深める。		
9	1、古文 物語 源氏物語 「なにがしの院」		6	1、平安期の文学の多様な流れを統合した、物語文学の最高峰とも言える作品を通して王朝文学の粋を味わう。なにがしの院における物の怪の出現と、夕顔の死および光源氏の狼狽について理解する。2、孔子と弟子とのやりとりにより、弟子の性質をよく見抜いた孔子の指導力と愛すべき直情の弟子のプロフィールを理解する。		
	2、漢文 孔子と子路 「子路請為弟子」		6			
10	1、古文 物語 源氏物語 「新春の六条院」		5	1、光源氏の栄華の頂点を描いた場面を読むことにより、六条院のありさまや明石の君母子に対する光源氏の情愛について理解する。2、最後まで師の教えを守り通した弟子の姿と、弟子の死を予言した師の人物理解の的確さについて理解する。		
	2、漢文 孔子と子路 「嗟乎、由死矣」		4			
11	1、古文 物語 源氏物語 「香の御五十日」		6	1、不義の子を抱かねばならず、またそれがかつての自身と藤壺との過ちを想起させ、人間の根底にある情念の醜さを思い知るという源氏の悲嘆や苦悩を読み取り、また出家した女三の宮に対する源氏の複雑な心の動きを捉える。2、高祖の人物像を正しく読み取り、項羽との違いについて理解させる。		
	2、漢文 漢の高祖と韓信・張良 「大丈夫当如此也」		3			
12	1、古文 歴史 大鏡 「時平の大臣」		3	1、『大鏡』の内容、構成・形式・成立時期、作者について理解する。紀伝体の語り方に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。また、時平・道真の官位・年齢・人柄を整理し、人物像をまとめる。2、覇上に到着した沛公の言動を指摘し、沛公の考えを読み取る。		
	2、漢文 漢の高祖と韓信・張良 「法三章耳」		3			
1	1、古文 歴史 大鏡 「東三条院と道長」		4	1、貴族の権力争いと、それをめぐる人々の心情について理解を深める。特に道長のまれに見る強運やその後権力の頂点に立ったことを理解させる。2、大学入試センター試験を目前に、実戦問題を行う。		
	2、入試対策 自主教材 大学入試センター試験		5			
2	1、入試対策 自主教材		12	1、センター試験後は、国公立二次・私立大対策を行う。		
3						

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学α	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める				
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	大修館書店 『精選古典B 改訂版』、その他自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標	
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」	《中間考査》	3	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。	
	2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」		3		
5	1、古文 物語 大和物語 「をばすて」	《中間考査》	4	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。	
	2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」		4		
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」	《期末考査》	4	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのすれ違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荊軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心が持てるようにする。	
	2、漢文 史伝 「荊軻」		2		
7	1、漢文 史伝 「荊軻」	《期末考査》	6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荊軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。	
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」	《中間考査》	2	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風に書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にししながら、文脈に沿って読解ができるようにしていく。	
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」	《中間考査》	4	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐家八家文の一つとしての形について理解できるようにする。	
	2、漢文 文章 「師説」		4		
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」	《中間考査》	4	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。	
	2、漢文 小説 「人虎伝」		2		
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」	《期末考査》	3	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。	
	2、漢文 小説 「人虎伝」		3		
12	1、古文 評論 無名抄	《期末考査》	2	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。	
	2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		2		
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」	《期末考査》	4	1、、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題をを行う。	
	2、受験対策 自主教材		2		
2	1、受験対策 自主教材	《期末考査》	6	1、入学試験を目前に、実戦問題をを行う。	
3		《期末考査》			

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年 普通科 特別進学β		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	大修館書店 『精選古典B』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到 達 目 標		
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」		3	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。		
	2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」		3			
5	1、古文 物語 大和物語 「をばすて」 《中間考査》		4	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。		
	2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」		4			
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」		4	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのすれ違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荊軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心が持てるようにする。		
	2、漢文 史伝 「荊軻」		2			
7	1、漢文 史伝 「荊軻」 《期末考査》		6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荊軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。		
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」		2	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風に書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にしなが、文脈に沿って読解ができるようにしていく。		
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」		4	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐家八家文の一つとしての形について理解できるようにする。		
	2、漢文 文章 「師説」		4			
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」 《中間考査》		4	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」		2			
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」		3	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」 《期末考査》		3			
12	1、古文 評論 無名抄		2	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。		
	2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		2			
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		4	1、、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題を行う。		
	2、受験対策 自主教材		2			
2	1、受験対策 自主教材		6	1、入学試験を目前に、実戦問題を行う。		
3						

教科名	国語科	科目名	古典B	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年 普通科 進学コース		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
学習目標	古典としての古文漢文を読解し、鑑賞する能力を養うとともに、感じ方や考え方を広くし、自らの人生を豊かにする姿勢を育てる。読解に必要な文法事項や古語の知識、漢文の基本句法や基礎事項を理解し文章の読解を深める					
進め方	教科書・板書を中心に講義を進める。音読を重視し、また必要に応じて内容理解のためのプリントを配布して補足したり、プリント等による問題演習や口頭での発表を通じて理解を深めさせるよう考慮する。					
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	大修館書店 『精選古典B』、その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	学 習 項 目		時間数	学 習 到達 目 標		
4	1、古文 随筆 枕草子 「うれしきもの」		3	1、清少納言の機知に富んだ文章を読むことにより、「をかし」の文学といわれる点を実感できるようにする。1、返り点、送り仮名、書き下し文などの基本的なルールや重要な句法、再読文字など、ポイントを押さえながら正確に文章を読み解く。また怪異現象を取り扱った内容を読むことで、漢文をより身近なものに意識する。		
	2、漢文 逸話と寓話 「不死之薬」		3			
5	1、古文 物語 大和物語 「をばすて」 《中間考査》		4	1、登場人物の行動、心情を読み取るとともに、和歌の用法や技法に注意して、臨場感や躍動感に富む文章を読み味わう。2、日本人の感覚とは異なったエキゾチックなムードを味わいながら読む。		
	2、漢文 逸話と寓話 「売油翁」		4			
6	1、古文 日記 蜻蛉日記 「町の小路の女」		3	1、作者である藤原道綱母の思いと、夫である藤原兼家との気持ちのすれ違いに注意して読解できるようにする。2、刺客として秦の始皇帝を殺害することとなった荊軻の心境を読み取り、歴史への興味・関心が持てるようにする。		
	2、漢文 史伝 「荊軻」		3			
7	1、漢文 史伝 「荊軻」 《期末考査》		6	1、秦の始皇帝の前で、いよいよ刺客として行動を起こそうとするものの、計画が露見しても事をなそうとする荊軻と始皇帝のやりとりを理解すると共に『史記』の文章に親しみ、司馬遷の描写力の見事さについて味わえるようにする。		
8	1、古文 日記 和泉式部日記 「香る香に」		2	1、和泉式部と師宮敦道親王との恋愛を歌物語風に書き記した点を理解し、会話の主や主語を明確にしなが、文脈に沿って読解ができるようにしていく。		
9	1、古文 物語 源氏物語 「葵」		4	1葵上にとりついた六条の御息所の生き霊が次第に姿を現していく場面を、叙述に従って理解できるようにする。2、論理を追って正しく読解してゆく技法と方法を養うと共に唐家八家文の一つとしての形について理解できるようにする。		
	2、漢文 文章 「師説」		4			
10	1、古文 物語 源氏物語 「須磨」 《中間考査》		3	1、光源氏が須磨に行かなければ行けなかった状況を理解し、叙情的な文章や和歌の含み持つ文体の美しさを理解できるようにする。2、伝奇小説を読むことにより漢文に特有のリズムに慣れ、かつ重要な語句の読み方や意味、句法に習熟できるようにする。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」		3			
11	1、古文 物語 源氏物語 「若菜上」		3	1、光源氏と紫の上は女三の宮の降嫁をどのように受け止めているかを理解する。また、和歌のやりとりによって二人の心がすれ違っているところを読み味わう。2、李徴の言動から、どのような人物なのかを考え、また虎となった李徴の行動について整理し、中島敦の「山月記」との違いについて考えていく。		
	2、漢文 小説 「人虎伝」 《期末考査》		3			
12	1、古文 評論 無名抄		2	1、「古今和歌集仮名序」にはじまる歌論の流れについて整理をし、和歌の内容とそれに対する批評の論理性について理解できるようにする。2、ストーリーを追って段落に分け、内容を把握する。		
	2、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		2			
1	1、漢文 長恨歌と日本の文学 「長恨歌」		4	1、玄宗皇帝と楊貴妃というよく知られた、恋愛詩・叙事詩として鑑賞し、白居易が日本文学に与えた影響にも、理解を深める。2、入学試験を目前に、実戦問題を行う。		
	2、受験対策 自主教材		2			
2	1、受験対策 自主教材		6	1、入学試験を目前に、実戦問題を行う。		
3						

教科名	国語	科目名	国語演習	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年 普通科 総合選択コース		履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	本コースは、就職・進学と進路がさまざまであるのが特徴である。そこで、社会に出る時に必要である、漢字力・国語常識に加え、就職・進学に対応するために記述力の向上を図る。また、読解・鑑賞・読書の方法の習得を目指すし、ものの見方、考え方を深めることが目標である。					
学習内容の概要	三省堂「明解 現代文B」「古典A」を授業の基本としつつも、漢字・国語常識については、尚文出版「国語必携パーフェクト演習」、記述力については「楽しく書ける作文・小論文」を用い、読解力・表現力・国語常識を養う。					
学習方法	国語力の向上のため、授業で板書をしながら、生徒に理解させるようにする。また、国語常識・漢字の力や記述力を養成するために、「国語必携パーフェクト演習」「楽しく書ける作文・小論文」を用いて、書く力、読む力のスキルアップをする。					
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価を踏まえ評価する。					
使用教材	三省堂「明解 現代文B 改訂版」「古典A」 尚文出版「国語必携パーフェクト演習」桐原書店「楽しく書ける作文・小論文」 尚文出版「常用漢字クリア」 その他自主教材					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	随想一	春の小川の思い出	3	身近な出来事を取り上げた随想の中に表現されている心情やものの見方をとらえ、登場人物の心情を考える。		
	パーフェクト演習 (基礎編)	演習1～演習3	3	漢字の読み・書き取りについて演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
5	宇治拾遺物語	応天門炎上	4	子供のげんかから真相が発覚するという劇的な場面構成と鮮明な人物造形を理解し、古文への興味を深める。	中間考査	
	パーフェクト演習 (基礎編)	演習4～演習6	4	四字熟語や故事成語について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
6	小説一	山椒魚	3	閉じ込められた山椒魚の、変化する思いを読み味わい、自分と他者との関わり方について考えを深める。	期末考査	
	パーフェクト演習 (基礎編)	演習5～演習9	3	同音異義や熟語の構成について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
7	小説一	山椒魚	3	他者との関わりにおける「自分というもの」について考えると共に、豊かな含蓄にふれ、文学の奥深さを理解する。	終業式	
	パーフェクト演習 (基礎編)	演習10～整理3	3	基本熟語や難読語について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
8	パーフェクト演習 (発展編)	演習1～演習3	2	反対語や現代用語について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。	始業式	
9	莊子	混沌	4	道家の思想である、無為自然について理解を深め、「混沌」がなぜ死んでしまったのかを理解する。		
	パーフェクト演習 (発展編)	演習4～演習6	4	文章読解について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
10	評論一	科学的というのはどういう方法か	4	科学と非科学との境界について、「再現性」との関係について考えると共に、再現性の確認について理解する。	中間考査	
	パーフェクト演習 (発展編)	演習7～9	2	難読語や同音異義語について演習をし、解説をすることにより知識の定着を図る。		
11	今昔物語集	姨母捨山	3	姥捨山の伝説について理解を深めると共に、当時の時代背景についても思いを馳せるようにする。	期末考査	
	パーフェクト演習 (発展編)	演習10～整理3	3	今までの語句や熟語について総整理を行い、繰り返し演習や小テストをおこない知識の定着を図る。		
12	小説二	山月記	4	漢文調の文章を味わうとともに、人物の言動から人物像を明らかにし、生き方や人間の運命について考えを深める。		
1	小説二	山月記	6	自らが変身してしまった理由・原因について理解を深め、人間存在への洞察を深め、自己を内省するきっかけとする。	卒業考査	
2		進学・就職対策 自主教材	6	入学試験対策を行うと共に、就職の生徒に対して語彙を増やし、文章が作成できるように適時指導していく。		
3						

教科名	地理歴史		科目名	世界史演習Ⅰ	単位数	5単位
対象学年	第3学年普通科特別進学コース・進学コース		履修形態	選択	授業形態	3T2Z文系・3G【講義・演習】
科目の目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
学習内容の概要	2年次の学習内容を大学受験に沿う形で充実させる。 ○第Ⅲ部：第9章近世ヨーロッパ世界の展開～第12章：アジア諸地域の動揺　○第Ⅳ部：第13章帝国主義とアジアの民族運動～第16章現在の世界					
学習方法	○集中して授業に臨み、事前学習を習慣化して、真剣に問題演習に取り組む。その際、間違えた個所の徹底究明、完全理解を心掛ける。 ○定期考査は模試・入試に直結する土台。しっかりと学習を積んで受験する。					
評価の観点・評価方法	ベースとなる知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。定期考査・問題演習・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。					
使用教材	『改訂版詳説世界史B』（山川出版社）					
その他	共通テスト対策用演習問題・センター過去問題・私大過去問題等					
年間授業計画						
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	試験等	
4	第9章近世ヨーロッパ世界の展開	①重商主義と啓蒙専制主義	5	・要点を整理し、演習問題で確認。		始業式
		②ヨーロッパ諸国の海外進出	5			
		③17～18世紀のヨーロッパの文化と社会	5			
5	第10章近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	①産業革命	5	・要点を整理し、演習問題で確認。		中間考査
		②アメリカ独立革命	5			
		③フランス革命とナポレオン	5			
			5			
6	第11章欧米における近代国民国家の発展	①ウィーン体制の成立	5	・要点を整理し、演習問題で確認。		
		②ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生	5			
			5			
			5			
7		③南北アメリカの発展	5	・要点を整理し、演習問題で確認。		期末考査 終業式
		④19世紀欧米文化	5			
			5			
8	第12章アジア諸地域の動揺	①オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容②南アジア・東南アジアの植民地化 ③東アジアの激動	5	・要点を整理し、演習問題で確認。		始業式
9	第13章帝国主義とアジアの民族運動	①帝国主義と列強の展開	5	・要点を整理し、演習問題で確認。		
		②世界分割と列強対立	5			
		③アジア諸国の改革と民族運動	5			
			5			
10	第14章二つの世界大戦 第15章冷戦と第三世界の独立	①第一次世界大戦とロシア革命②ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	5	・要点を整理し、演習問題で確認。		中間考査
		③アジア・アフリカ地域の民族運動④世界恐慌とファシズム諸国の侵略	5			
		⑤第二次世界大戦①戦後世界の形成とアジア諸地域の独立②米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興③第三世界の台頭と米・ソの歩みより④石油危機と世界経済の再編	5			
			5			
11	第16章現在の世界	①社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展	5	・要点を整理し、演習問題で確認。		
		②途上国の民主化と独裁政権の動揺	5			
		④地域紛争の激化と深刻化する貧困	5			
		④現代文明の諸相	5			
12	共通テスト対策		5	・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。		期末考査 終業式
			5			
			5			
1	共通テスト試験対策 私大・二次試験対策		5	・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。		始業式
			5			
2	私大・二次試験対策		5	・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。		
			5			
			5			
			5			
3	私大・二次試験対策			・実践問題や過去問題に取り組み、実力を養成する。		卒業式

教科名		地理歴史	科目名	世界史演習Ⅱ	単位数	3単位
対象学年		第3学年普通科特別進学コースβ	履修形態	選択	授業形態	3Z私文系【講義・演習】
科目の目標		世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を培う。				
学習内容の概要		世界史を系統的に整理する。問題演習を通して私大入試のベースをつくり、志望校の過去問に積極的に取り組む。				
学習方法		○歴史はつながっている。集中して授業に取り組むことが大切。○センター試験および私大受験対応の問題集を使用して、問題演習を行う。 ○定期考査は模試・入試に直結する土台。しっかりと学習を積み、80点以上をめざす。				
評価の観点・ 評価方法		基礎的知識を身につけるとともに、世界の歴史の大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求しようとする姿勢に着目したい。定期考査・問題演習・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材		『詳説世界史B』（山川出版社）・共通テストおよび私大受験対応の問題集				
年間授業計画						
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント		主な行事
4	序章先史の世界 オリエント地中海 世界	・人類の進化・文化から文明へ・人類と言語の文化	3	問題演習		始業式
		・古代オリエント世界・ギリシア世界・ローマ世界	3			
			3			
5	アジア・アメリカの 古代文明	・インドの古典文明・東南アジアの諸文明	3	問題演習		中間考査
		・中国の古典文明・南北アメリカ文明	3			
			3			
6	内陸アジア世界・東 アジア世界の形成 イスラーム世界の 形成と発展	・草原の遊牧民の活動とオアシスの定住民・北方民族の活動と	3	問題演習		
		中国の分裂・東アジア文化圏の形成	3			
		・イスラーム世界の形成・イスラーム世界の発展・インド,東南	3			
		アジア,アフリカのイスラーム化・イスラーム文明の発展	3			
7	ヨーロッパ世界の 形成と発展	・西ヨーロッパ世界の成立　・東ヨーロッパ世界の成立	3	問題演習		期末考査
		・西ヨーロッパ中世世界の変容　・西ヨーロッパの中世文化	3			
			3			終業式
8	東アジア世界の展開	・トルコ化とイスラーム化の進展　・モンゴルの大帝国	3	問題演習		始業式
9	アジアの繁栄 近世ヨーロッパの 形成 近世ヨーロッパ世 界の展開	・東アジア世界の動向・清代の中国と隣接諸地域・トルコ・イ	3	問題演習		
		ラン世界の展開・ムガル帝国の興隆と衰退	3			
		・欧州世界の拡大・ルネサンス宗教改革主権国家体制の形成	3			
		・重商主義と啓蒙専制主義・ヨーロッパ諸国の海外進出・17	3			
10	近代欧米世界 欧米における近代 国民国家の発展 アジアの動揺 帝国主義とアジア の民族運動	・産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命とナポレオン	3	問題演習		中間考査
		・ウィーン体制の成立・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生・	3			
		南北アメリカの発展・19世紀欧米文化	3			
		・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容・南アジア,東	3			
11	二つの世界大戦 冷戦と第三世界の 独立	・第一次大戦とロシア革命・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国・	3	問題演習		
		諸地域の民族運動・世界恐慌とファシズム諸国・第二次大戦	3			
		・戦後世界の形成とアジア諸地域の独立・米ソ冷戦の激化と西	3			
		欧・日本の経済復興・第三世界の台頭と米ソの歩みより・石油	3			
12	現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展・途上国	3	問題演習		期末考査
		の民主化と独裁政権の動揺・地域紛争の激化と深刻化する貧	3			終業式
		困　・現代文明の諸特徴	3			
1	センター対策 私大対策		3	問題演習		始業式
			3			
			3			
2	私大対策		3	問題演習		
			3			
			3			
			3			
3	私大対策			問題演習		卒業式

教科名	地理歴史科	科目名	日本史A	単位数	3単位	
対象学年	ビジネス生活福祉情報アート 第3学年	履修形態	必修	授業形態	講義	
a. 科目の目標	日本史の歴史的流れを、世界史的視野から・地域の観点から考察するとともに、全体として、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にするとともに、問題解決的な「実践」性を養いたい。国民国家、移動、モノの生産、政治・社会の仕組みを学習のポイントとする。					
b. 学習内容の概要	(導入)近代以前のあゆみ、①近代国家と社会の形成、②二つの世界大戦と大日本帝国、③帝国とデモクラシー、④デモクラシーの展開と帝国の変容、⑤アジアの戦争と第二次世界大戦、⑥戦後史					
c. 学習方法	教科書、参考資料をフル活用し、講義スタイルで展開する。					
d. 評価方法	定期考査、ノート・各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。					
e. 使用教材	①教科書「新日本史A」実教出版 ②教科書準拠問題集(プリント印刷・配布)					
f. その他	夏期講習などの講習では、問題演習に重点をおく。					
年 間 授 業 計 画						
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項	
4	導入学習	①古代・中世	3	前近代史の重要事項を、教科書の記述に沿って学習する。その際、近現代史学習に資する内容となるよう工夫する。	始業式	
	近代以前のあゆみ	②近世	3			
			3			
			3			
5	第1部 世界と日本	1. 東アジア世界の転換	3	列強の接近に対する幕府の対応の中で下級武士が登場、政治運動の過程で尊王論と討幕論が結合する「流れ」を理解する。プリントによる問題演習も行う。	県総体	
	第1章 近代国家と社会の形成	2. 開国	3			
	第1節 世界と東アジア	3. ゆれ動く幕末の政治と社会	3			
		4. 「御一新」への期待と明治維新	3			
6	第2節 近代国家の誕生	1. 国境の画定	3	明治政府による神道国教化政策と対抗思想の脆弱性、啓蒙思想から自由民権思想へ、民権運動の敗北から憲法制定まで複雑な流れをわかりやすく理解したい。	模擬試験	
		2. 明治政府の諸改革	3			
		3. 自由民権運動のはじまり	3			
		4. 自由民権期の社会	3			
		5. 大日本帝国憲法	3			
7	第3節 近代社会の形成	1. 文明開化	3	文明開化期の啓蒙思想家として福沢諭吉を中心にとりあげる。『文明論之概略』『学問のすゝめ』の天賦人權論を明らかにする。	期末考査 スポーツ祭 懇談会 終業式	
			3			
8		2. 新しい文化交流	3	岩倉使節団について、久米邦武の『米欧回覧実記』など手掛かりに、使節団の欧米認識をとりあげる。お雇い外国人の活動にもふれる。	始業式	
			3			
9	第2章 二つの戦争と大日本帝国	第1節 日清戦争と日露戦争	3	明治内閣史を日清・日露戦争と関連付け、理解したい。		
			3			
		第2節 帝国形成期の社会	3			
			3			
			3			
10	第3章 帝国とデモクラシー	第1節 大正デモクラシー	3	大正デモクラシーの理論的背景となつた、吉野作造・美濃部達吉の思想について分析する。	中間考査 学校祭	
			3			
	第2節 ヴェルサイユ体制とロシア革命	3				
		3				
11	第4章 デモクラシーの展開と帝国の変容	昭和恐慌	3	1920年代の協調外交と、30年代の強硬外交と軍部の台頭について、対中国・朝鮮政策と関連付けて理解したい。	創立記念日	
			3			
			3			
12	第5章 アジアの戦争と第二次世界大戦	第1節 日中15年戦争	3	アジア・太平洋戦争の中で、日中全面戦争から対米英戦になぜ突入したのか、順を追って理解したい。また、戦後史は現代社会的視点も大切にしたい。	期末考査 懇談会 終業式 冬期講習	
			3			
		第2節 アジア太平洋戦争	3			
			3			
1	戦後史(まとめ)	第6章 現代日本の源流など	3	戦後史は現代社会的視点も大切にしながら、政治・経済・文化史を三本柱として追及する。ー授業終了ー	卒業考査	
			3			
			3			
2						
3					卒業式 特別授業 国立2次試験	

教科名	地理歴史科	科目名	日本史演習Ⅰ	単位数	5単位	
対象学年	普通科特別進学β 第3学年	履修形態	必修	授業形態	講義	
a. 科目の目標	日本史の歴史的流れを、世界史的視野から考察するとともに、律令制から荘園制の発展(2年次)、太閤検地、近世流通発達史、近代の産業革命、戦後の農地改革と財閥解体など、経済史的側面からのアプローチに重点を置きながら、政治史・文化史・(宗教)思想史を3本柱として学習を進める。全体として、根拠を明示する「実証」的姿勢を大切にするとともに、問題解決的な「実践」性を養いたい。					
b. 学習内容の概要	①近世、②近代・現代の流れを理解する。※近世、近代・現代は2学期までに終了。大学入試センター試験・私大受験・国公立大2次試験に対応するため、教科書終了後は総復習と問題演習に重点をおく。					
c. 学習方法	教科書、参考資料をフル活用し、講義スタイルで展開する。					
d. 評価方法	定期考査、実力テスト、各種課題の提出など、定期考査を中心とする判断材料の中で総合的に評価する。					
e. 使用教材	①教科書「詳説日本史B」山川出版社 ②問題集「日本史B10分間テスト」山川出版社 ③ワーク「詳説日本史Bノート」山川出版社 ④担当者オリジナル受験対策テキスト「日本史の基礎と応用」など。					
f. その他	平日講習、夏期講習、冬期講習では問題演習に重点をおく。					
年 間 授 業 計 画						
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項	
4	第3部 近世	①織豊政権と「天下」統一	5	「大航海時代と宗教改革」を概観し、織豊政権との関連を考える。「天下」の内実を分析し、幕藩体制の基本的構造を組織・法令・外交など総合的に理解したい。	始業式	
	第6章 幕藩体制の 確立	②江戸幕府の成立	3			
		③幕藩体制の基本構造〔組織〕	3			
		④幕藩体制の基本構造〔法令〕	3			
5	第7章 幕藩体制の 展開	⑤幕藩体制の基本構造〔外交〕	4	外交政策について、鎖国体制の完成まで年号形式でその内容を理解する。また、武断から文治政治へ。4代家綱～7代家継までの基本政策を把握する、など。	県総体	
		①幕政の安定について	4			
		②経済の発展	4			
		③元禄文化とその思想	5			
6	第8章 幕藩体制の 動揺	①享保の改革	4	享保の改革⇒田沼政治⇒寛政の改革⇒大御所政治⇒天保の改革について、それぞれの基本政策を理解する。百姓一揆についてはその前後との関連〔土一揆と自由民権期の激化事件〕で分析したい。	模擬試験	
		②百姓一揆概観	3			
		③田沼時代と寛政の改革	4			
		④大御所政治と天保の改革	4			
		⑤諸藩の藩政改革	3			
7		⑥化政文化〔美術と文学〕	3	化政文化について、美術・文学・国学・洋学・儒学と経世思想をそれぞれ概観し、その特徴を理解したい。さらに、国学については尊王思想との関連も考えたい。	期末考査 スポーツ祭 懇談会 終業式	
		⑦化政文化〔国学と洋学〕	4			
		⑧化政文化〔儒学と経世思想〕	4			
		第4部 近代・現代	⑨生活と信仰			3
8	第9章 近代国家の 成立	①列強の接近と開国	5	列強の接近に対する幕府の対応の中で下級武士が登場、政治運動の過程で尊王論と討幕論が結合する「流れ」を理解する。新撰組の歴史的位相にも注目する。	始業式	
		②幕府の対応	3			
		③幕末～明治維新期の政治運動	7			
		④戊辰戦争と明治政府の成立	3			
9		⑤明治政府の諸政策	6	明治政府による神道国教化政策と対抗思想の脆弱性、啓蒙思想から自由民権思想へ、民権運動の敗北から憲法制定・初期議会、日清戦争の勝利まで複雑な流れをわかりやすく理解したい。		
		⑥啓蒙思想・士族反乱	3			
		⑦自由民権運動とその思想	5			
		⑧初期議会と条約改正	3			
		⑨朝鮮問題と日清戦争	4			
10		⑩日露戦争と明治内閣史	5	明治内閣史を日清・日露戦争と関連付け、理解したい。また、大正デモクラシーの背景となった吉野作造・美濃部達吉の思想について分析する。	中間考査 学校祭	
		⑪近代産業の発展	4			
		⑫明治の文化	4			
		第10章 近代日本と アジア	①大正デモクラシーと第一次大戦			5
11		②ワシントン体制と協調外交	5	1920年代の協調外交と、30年代の強硬外交と軍部の台頭について、対中国・朝鮮政策と関連付けて理解したい。	創立記念日	
		③護憲三派内閣の成立	5			
		④軍部の台頭	6			
		⑥第二次世界大戦と日本	5			
12	第11章 占領下の日本	①戦後内閣史整理 その1	5	アジア・太平洋戦争の中で、日中全面戦争から対米英戦になぜ突入したのか、順を追って理解したい。また、戦後史は現代社会的視点も大切にしたい。	期末考査 懇談会 終業式 冬期講習	
	第12章 高度成長の 時代	②戦後内閣史整理 その2	5			
1	センター試験直前対策		5	センター対策・私大受験対策・国公立大2次試験対策。総復習を含め、政治史・経済史・文化史を中心に要点を整理する。	センター 試験 入学試験	
	私大受験対策		5			
	私大受験対策		5			
	国公立大2次試験対策		5			
2	国公立大2次試験対策			記述式への全対応をめざす。おもに政治・経済史を中心に流れを理解し、かつ表現力も養う。	国立2次 試験	
	国公立大2次試験対策					
	国公立大2次試験対策					
3	国公立大2次試験対策				卒業式 特別授業 国立2次 試験	
	国公立大2次試験対策					

教科名	地理歴史科	科目名	日本史演習Ⅰ	単位数	5単位
対象学年	進学コース 第3学年G組	履修形態	選択	授業形態	【講義】
a. 科目の目標	中世・近世以降の日本史の歴史的な流れを把握し、各時代の政治・経済・文化など様々な視点から、多面的に考察し、当時の世界情勢も踏まえたうえで、現代へどのように繋がっているのかを理解できるようになる。				
b. 学習内容の概要	室町時代の後半から、戦国時代、織豊政権、江戸幕府、近代化を進め、開国し、明治政府、大正・昭和・平成時代への流れを確認しながら、様々な分野にわたって考察していく。				
c. 学習方法	教科書、参考資料を活用、分野によってはプリントを用いて学習する。				
d. 評価方法	定期考査・ノート・プリントなどの各課題提出、授業態度など				
e. 使用教材	教科書「詳説 日本史B」山川出版社				

年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	導入学習	前年度の復習	5	前年度の復習を行ったうえで、	始業式
	第Ⅱ部 中世 第5章	③室町文化	5	本年度の内容に入り、近世への過	
		④戦国大名の登場	5	程を理解できるように学習する。	
	第Ⅲ部 近世 第6章	①織豊政権	5		
5		②桃山文化 ③幕藩体制の成立	5	織豊政権下の文化、江戸幕府の	
		④幕藩社会の構造	5	支配体制・経済の発展、町人の文	
	第7章	①幕政の安定 ②経済の発展	5	化を各々の視点から理解できるよ	
		③元禄文化	5	うに学習する。	県総体
6	第8章	①幕政の改革②宝暦・天明期の文化	5	江戸幕府の弱体化を理解させ、	
		③幕府の衰退と近代への道	5	当時の世界情勢も踏まえたうえで	
		④化政文化	5	江戸庶民の暮らし・文化にも触れ	
			5	て、学習する。	
7	第Ⅳ部 近現代 第9章	①開国と幕末の動乱	5	幕末期の動乱を整理し、近代化を	期末考査
		②明治維新と富国強兵	5	進めた明治新政府の体制、対外政	スポーツ祭
		③立憲国家の成立と日露戦争	5	策を理解できるように学習する。	懇談会・終業式
		④日露戦争と国際関係	5		終業式・夏季休業
8		一学期の振り返り・導入	5	復習したうえで学習の続きに入る	夏季休業・始業式
9		⑤近代産業の発展	5	近代化の影響で産業や文化与えら	
		⑥近代文化の発達	5	れた影響、第一次世界大戦への日	
	第10章	①第一次世界大戦と日本	5	本の参戦の経緯、ワシントン体制	
		②ワシントン体制	5	の世界状況を踏まえ、学習する。	
10		③市民生活の変容と大衆文化	5	市民生活に焦点をあて、文化を見	
		④恐慌の時代	5	ていく。世界恐慌を受け、日本や	中間考査
		⑤軍部の台頭	5	諸外国にどのような影響があった	学校祭
		⑥第二次世界大戦	5	のかを考える。第二次世界大戦を	
11	第11章	①占領と改革	5	経て、日本の民主主義化を見る。	
		②冷戦の開始と講和	5	戦後の日本の政治体制、冷戦の影	創立記念日
	第12章	①55年体制	5	響を踏まえたうえで、現代につな	
		②経済復興から高度成長へ	5	がる点を考察する。	
12	第13章	①経済大国への道	5	経済にも焦点を当て、戦後復興	期末考査
		②冷戦の終結と日本社会の変容	5	からの経済成長期の過程を学習す	懇談会・終業式
			5	る。	冬季休業
1		一年のまとめ・学習内容の総復習	5	日本史Bの内容を総復習する。	冬季休業・始業式
			5	様々な分野史にも焦点を当て、学	大学共通テスト
			5	習内容の確認も行う。	卒業考査
2					
3					卒業式
					特別授業
					国立二次試験

教科名	地理歴史		科目名	地理A	単位数	2単位
対象学年	第3学年 普通科進学コース（Ⅱ）		履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	「現代世界の地理的諸課題を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示された目標が本科目の目標である。					
学習内容の概要	「私たちの地球を見つめる」「さまざまな地域の生活と環境」「地球的に広がる課題」の3部を学習する。					
学習方法	科目の目標が達成できるように、また単なる知識の暗記に陥らないように生徒自らが「何故だろう」と絶えず発想し、興味を持って学習できるように工夫する。					
評価の観点・ 評価方法	知識の暗記だけではなく、発想の広がりを持った生徒を育てることに留意したい。 評価として、定期考査・各課題の提出状況・出席状況・授業中の態度等をもとに総合的に評価する。					
使用教材	帝国書院「高等学校新地理A初訂版」 帝国書院「新詳高等地図初訂版」					
その他	興味を持たせる授業にするために「身近な知識」を学習させることが重要であると思い、よく耳にする都市や地形について写真を提示しながら、地図帳を用いて学習させている。					
年間授業計画						
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な評価	
4	「人間生活を取り巻く環境」	○世界と大地形 ○山地・平野の地形と人々の生活	6	○内的営力・外的営力・プレートテクトニクス論等を理解させる。	始業式	
5	「人間生活を取り巻く環境」	○海岸の地形と人々の生活 ○氷河・カルスト・乾燥地形 ○生活と気候の関わり	8	○リアス式海岸の特徴から、何故「津波」の被害が恐ろしいかを考えさせる。 ○写真を参照させうえて、雨温図や分布図の読み取りをさせ、各気候の特徴を理解する。	中間考査	
6	「人間生活を取り巻く環境」	○生活と気候の関わり ○人々の生活と社会環境	8	○世界の人々の生活と宗教・言語の関わりを具体的事例から理解させる。	期末考査	
7	「世界の諸地域の生活・文化」	○中国の生活・文化	8	○広大な国土、多様な自然環境、巨大な人口を持つ中国の変化を理解させる。	終業式	
8	同上	○中国の生活・文化	4	○同上	始業式	
9	「世界の諸地域の生活・文化」	○朝鮮半島の生活・文化 ○東南アジアの生活・文化	8	○朝鮮半島の日本との交流を考察させる。 ○東南アジアの多様性を理解させる。		
10	「世界の諸地域の生活・文化」	○インドの生活・文化 ○中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化	8	○ヒンドゥー教の関わりを理解させる。 ○それぞれの歴史とイスラム教がどのように結びついているのか理解させる。	中間考査	
11	「世界の諸地域の生活・文化」	○サハラ以南のアフリカの生活 ○ヨーロッパの生活・文化	8	○サハラ以南のアフリカの自然環境を踏まえ、どのような文化が形成されたのかを理解させる。 ○ヨーロッパの自然環境を理解し、特色のある農業を知り、日本と比較する。	期末考査	
12	同上	同上	8	○EU（ヨーロッパ連合）のできる過程を辿り、ヨーロッパまた世界においてどのような影響を与えているのかを考え、問題点も検討させる。	終業式	
1	「世界の諸地域の生活・文化」	○ロシアの生活・文化 自然環境・歴史・産業	6	○広大な面積・自然環境を踏まえ、気候区分を復習した上で、日本と比較する。	始業式	
2					期末考査	
3					卒業式	

科名	地理歴史	科目名	地理B	単位数	3単位
対象学年	第3学年 特進αβ理系	履修形態	選択	授業形態	【講義】
科目の目標	「現代世界の地理的事象を系統地理的、地読的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会で主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う」という指導要領に示されている目標が本科目の目標である。				
学習内容の概要	「自然と生活」「世界の諸地域」を2年時で、「グローバル化する現代世界」「地球的な課題」を3年時に…と2年間に渡って学習する。				
学習方法	科目の目標が達成できるように、また単なる知識の暗記に陥らないように生徒自らが「何故だろう」と絶えず発想し、興味を持って学習できるように工夫する。				
評価の観点・ 評価方法	知識の暗記だけではなく、発想の広がりを持った生徒を育てることに留意したい。 具体的な評価として、定期考査・各課題の提出状況・出席状況・授業中の態度等をもとに総合的に評価する。				
使用教材	帝国書院「新詳地理B」 センター試験地理対応 パワーアップ整理と演習 帝国書院「新詳高等地図」 帝国書院「地理統計」				
その他					
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	第Ⅱ部世界の諸地域 ○州・大陸規模の地域の調査	○西アジア 中央アジア	4 4 4	・厳しい自然環境の様子やイスラム教を通じた民族の交流について理解させる。また、石油に依存する経済の様子と問題点についても考察させる。	始業式
5		○ヨーロッパ ○東南アジア	4 4 4 4	・EUの歩みから人やものの交流を理解させる。また、EU諸国の農業と工業の課題などについても考察させる。 ・東南アジアの民族・文化や農業などの特色と地域的差異を考察させ、ASEANの組織についても考察させる。	中間考査
6	第Ⅲ部グローバル化する現代社会 ○近隣諸国の研究	○韓国	4 4 4 4	・朝鮮半島の自然や民族・文化について日本との比較を通して考察させる。	期末考査
7		○中国	4 4	・中国の人々の生活(農・工中心)や政治・経済体制について考察させる。	終業式
8		○ロシア	4 4	・広大な国土をもつロシアに居住する様々な民族の生活について理解させる。	始業式
9	○結びつきを強める現代世界の課題のとらえ方 ○地図でとらえる現代社会	○国家・交通・通信・時差 ○貿易 ○南北問題	4 4 4 4	・国家の形態について理解させ、国境をめぐる諸問題について考察させる。 ・世界の交通網の地域差や情報社会における現状と課題について考察させる。 ・貿易に関する基礎的知識を定着させる。 ・生活の格差を地図化することで南北問題を捉えさせる。	
10	○地域区分でとらえられる現代世界の課題 第Ⅳ部地球的な課題 ○人口・食料問題	○アフリカ ○ラテンアメリカ ○中南アフリカ ○デンマーク	4 4 4 4	・アフリカやラテンアメリカの地域区分の事例を通して、その地域の概況や抱えている課題を考察させる。 ・発展途上国の人口・食料問題の事例として中南アフリカを、先進国のその事例としてデンマークをあげ、その現状と課題を考察させる。	中間考査
11 12 1	○都市・居住問題 ○環境・エネルギー問題	○ラゴス メキシコシティ ○ロンドン ○日本 ○様々な環境・エネルギー問題	4 4 4 4	・発展途上国の都市問題の事例として、ラゴス・メキシコシティを、先進国のその事例としてロンドンをあげ、現状と対策を考察させる。 ・日本のそれについても現状と問題点を考察させる。 ・環境破壊の具体的事例をあげ、その解決策を考察させる。	期末考査

教科名	公民科	科目名	政治経済	単位数	2単位
対象学年	第3学年 普通科進学コース（Ⅱ）	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸問題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	○現代の経済　○現代の政治　○現代社会の諸課題				
学習方法	教科書・整理ノートの活用をベースに、土台となる基礎的知識を学び、人間の社会生活を取り巻く様々な事象についての理解力を養う。新聞・ニュースなどを通して、時事的問題への関心を高め、自ら問題意識を持って進んで取り組むことのできる学習活動を展開する。				
評価の観点・ 評価方法	人間の社会生活そのものに関わってくる政治経済の分野への関心と、現代社会の諸問題を見つめ、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢に着目したい。 定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	数研出版「改訂版 政治・経済」				
その他					
年間授業計画					
月	項目	学習内容	単 位	学習のポイント	授業時 数
4	経済活動の意義と経済体制	①人間と経済活動 ②資本主義経済の発展と変容 ③経済活動の主体	6	・経済活動とは何かを理解する。 ・三つの経済主体の果たす役割を理解する。	始業式
5	現代経済のしくみ	①市場経済のしくみ ②物価の動向 ③国民所得と経済成長	6	・市場経済のしくみを理解する。 ・国富と国民所得、国民総生産と経済成長、景気循環と対策等、基本的用語の意味を理解する。	中間考査
6		④財政のしくみと租税 ⑤金融のしくみと働き	8	・現代の福祉国家の観点から、財政の役割を考え、現実の財政の歳入・歳出がどうなっているのかを考察する。	期末考査
7	日本経済と福祉の向上	①戦後日本経済の歩み ②中小企業と農業・食料 ③公害防止と環境保全	6	・戦後の日本経済の変化の要因や影響、対策について理解する。 ・高度成長期と現在の日本農業の状況を理解する。 ・公害の発生原因について考察するとともに、環境保全に対する意識を高める。	終業式
8		④消費者問題と消費者保護	2	・消費者、企業、行政の責任と役割について明らかにし、消費者としての自覚を高める。	始業式
9	国民経済の動向	⑤労使関係と労働市場 ⑥少子高齢化と社会保障 ①貿易と国際収支 ②国際経済のしくみ	8	・社会保障制度の歴史、主な国と日本の現状を学び、今後の課題を考察する。 ・国民経済と国際経済の違いを理解し、自由貿易が果たした役割を考察し、また、国際収支表の構成がどうなっているのかを理解する。 ・国際経済機関が、どのような背景から設立され、その目的・機能が果たせたかを理解する。	
10	国際経済の課題と国際協力 民主政治の基本原則	①地球環境と資源エネルギー問題 ②発展途上国の経済と経済協力 民主政治の基本原則 ③国際経済における日本 ①政治と法 ②民主政治のあゆみ ③民主政治の基本原則とその展開 ④政治体制の比較	8	・現代世界の資源・エネルギー問題に対して、どのような対策があるのかを考察する。 ・地球規模の環境問題の事例を明らかにし、その対策として何が必要なのかを考察する。 ・日本経済の発展と国際化の進展について、両者を関連させながら理解する。 ・今後、世界経済の中で日本の果たすべき役割について考察する。	中間考査
11	日本国憲法と基本的人権 日本の政治機構 政治参加と民主政治の課題	①日本国憲法の基本的性格 ②基本的人権の保障 ③日本国憲法の平和主義 ①国会のしくみと役割 ②内閣と行政機構 ①戦後政治と政党 ②論と情報化社会	8	※一年次に学習した「現代社会」の内容をベースに振り返りつつ、それぞれの内容の重要ポイントを確認し、問題意識をもって社会の動きを見つめ、諸課題について主体的に追求していく姿勢を養う。	期末考査
12	国際政治の動向 国民社会と日本の役割	①国際社会の特質 ②国際社会と国際法 ③国際社会の組織化 ①核兵器の廃絶と軍縮問題 ②本の国際的地位と役割	6	※一年次に学習した「現代社会」の内容をベースに振り返りつつ、それぞれの内容の重要ポイントを確認し、問題意識をもって社会の動きを見つめ、諸課題について主体的に追求していく姿勢を養う。	終業式
1	現代社会の諸課題	総まとめ	6	※いくつかの項目を選択して、意見交換をすることによって、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢を養う。	始業式 卒業考査
2	現代社会の諸課題	総まとめ	8	※意見交換をすることによって、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢を養う。	

教科名	公民	科目名	公民演習	単位数	4 単位
対象学年	第3学年普通科特別進学コース	履修形態	選択	授業形態	3T 文系・3Z 私文【講義・演習】
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸問題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	〇現代の政治　〇現代の経済　〇現代社会の諸課題				
学習方法	2 年次までの公民分野の内容について講義・問題演習を中心に大学受験に向けての実力養成を図る。				
評価の観点・評価方法	人間の社会生活そのものに關わってくる政治経済の分野への関心と、現代社会の諸問題を見つめ、よりよい社会の構築を目指そうとする姿勢に着目したい。定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況などを総合的に評価する。				
使用教材	数研出版「改訂版　政治・経済」・共通テスト対策用演習問題・センター過去問題・私大過去問題等				
年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	授業形態
4	民主政治の基本 原理	①政治と法　②民主政治のあゆみ ③民主政治の基本原理とその展開　④政治体制の比較	4	・要点を整理し、演習問題で確認する。	始業式
			4		
			4		
5	日本国憲法と基本 的人権 日本の政治機構	①日本国憲法の基本的性格　②基本的人権の保障 ③日本国憲法の平和主義 ①国会のしくみと役割　②内閣と行政機構	4	・要点を整理し、演習問題で確認する。	中間考査
			4		
			4		
6	政治参加と民主 政治の課題 国際政治の動向	③裁判所のしくみと人権保障　④地方自治のしくみと住民生活 ①戦後政治と政党　②選挙制度の仕組み ③世論と情報化社会 ①国際社会の特質　②国際社会と国際法 ③国際社会の組織化	4	・要点を整理し、演習問題で確認する。	
			4		
			4		
7	国民社会の課題 と日本の役割 経済活動の意義 と経済体制	①核兵器の廃絶と軍縮問題　②地域紛争と人種・民族問題 ③日本の国際的地位と役割 ①人間と経済活動　②資本主義経済の発展と変容	4	・要点を整理し、演習問題で確認する。	期末考査 終業式
			4		
			4		
8		③経済活動の主体	4	・要点を整理し、演習問題で確認する。	始業式
9	現代経済のしく み 日本経済と福祉 の向上	①市場経済のしくみ　②物価の動向 ③国民所得と経済成長 ④財政のしくみと租税　⑤金融のしくみと働き ①戦後日本経済の歩み　②中小企業と農業・食料	4	・要点を整理し、演習問題で確認する。	
			4		
			4		
10	国民経済の動向	③公害防止と環境保全　④消費者問題と消費者保護 ⑤労使関係と労働市場　⑥少子高齢化と社会保障 ①貿易と国際収支　②国際経済のしくみ	4	・要点を整理し、演習問題で確認する。	中間考査
			4		
			4		
11	国際経済の課題 と国際協力 現代社会の諸課 題	①地球環境と資源エネルギー問題 ②発展途上国の経済と経済協力 ③国際経済における日本	4	・要点を整理し、演習問題で確認する。	
			4		
			4		
12	共通テスト対策		4	・問題演習	期末考査 終業式
			4		
			4		
1	共通テスト対策 私大対策		4	・問題演習	始業式
			4		
			4		
2	私大対策		4	・問題演習	
			4		
			4		
3	私大対策			・問題演習	卒業式

教科名	公民科	科目名	公民演習	単位数	2単位
対象学年	普通科進学コース 第3学年	履修形態	選択	授業形態	講義・演習
a. 科目の目標	現代社会の諸問題を主体的に考察・公正に判断する力、人としての生き方・在り方について考察する力を養う。				
b. 学習内容の概要	センター試験対策演習				
c. 学習方法	教科書・センター試験対策用まとめプリント・問題集を用いて、解法につながる土台をつくる。				
d. 評価方法	定期考査・主体的な学習への取り組み・出席状況				
e. 使用教材	教科書 東京書籍「現代社会313」 その他、各種プリント等教材。				
f. その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	留意事項
4	現代の政治	政治と法	6	○重要語句の整理	始業式
		民主政治の歩み			
		政治体制の比較			
5	日本国憲法と 基本的人権	日本国憲法の基本的性質	6	○需要語句の整理	
		基本的人権の保障			
		日本国憲法の平和主義			中間考査
6	日本の政治機構	国会のしくみと役割	8	○重要語句の整理	
		内閣と行政機構			
		裁判所のしくみと住民生活			期末考査
7	政治参加と 民主政治の課題	戦後政治と政党	6	○重要語句の整理	
		選挙制度のしくみ		○1学期のまとめ	
		世論と情報化社会			終業式
8	問題演習	時事対策問題	4	○時事問題演習	始業式
9	現代の国際政治	国際社会の特質	8	○重要語句の整理	
		国際社会と国際法			
		国際社会の組織化			
		戦後国際政治の展開			
10	国民経済と国際経済	国際経済の動向	8	○重要語句の整理	中間考査
		国際経済の課題			
		国際協力			
11	現代の諸問題	現代日本の諸問題	8	○重要語句の整理	
		国際社会の諸問題			
					期末考査
12	問題演習	大学入試試験対策演習	6	○重要語句の整理	
					終業式
				○2学期のまとめ	
1	問題演習	大学入試試験対策演習	6	○2学期の確認	始業式
				○重要語句の整理	
2	問題演習	大学入試試験対策演習	8	○重要語句の整理	
3					卒業式

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	単位数	6単位
対象学年	第3学年 特別進学コースα（理系） 特別進学コースβ（理系）	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	複素数平面、式と曲線について学習する。極限、連続関数の概念をつかみ、無限級数の収束・発散について学習する（極限）。さまざまな初等関数の微積分を扱い、高階導関数とグラフ、部分積分や置換積分を学ぶ（微分・積分）。基本事項を早めに習得し、高校数学全般の演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	教科書の内容を中心に学習し、問題集で反復演習を行い、入試問題を用いて実戦演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で加点評価する。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 詳説数学Ⅲ改訂版（啓林館） 問題集 マスグレード改訂版数学Ⅲ（啓林館）				
その他	特進αは平日の課外学習（80分）で、授業より発展した内容の演習、土曜講習（90分）で同様の演習を行う。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	複素数平面	複素数平面 数列の極限	6 6 6	複素数平面、極形式と乗法除法 ド・モアブルの定理 複素数と図形	始業式 入学式
5	式と曲線	2次曲線 関数の極限	6 6 6	放物線、楕円、双曲線 平行移動、2次曲線と直線 2次曲線の性質	
6	関数	媒介変数表示と極座標 関数	6 6 6 6	曲線の媒介変数表示 極座標と方程式、いろいろな曲線 分数関数、無理関数	期末考査
7	極限	数列の極限	6 6 6	逆関数と合成関数 数列の極限、無限等比級数 無限級数	終業式 夏期講習
8	微分法	関数の極限 微分法	6	関数の極限、三角関数と極限 関数の連続性 微分係数と導関数、導関数の計算	始業式
9	微分法の応用	導関数の応用	6 6 6 6	いろいろな関数の導関数 接線と法線、平均値の定理 関数の変化、最大最小、グラフ	
10			6 6 6 6	方程式不等式への応用	中間考査
11	積分法 積分法の応用	速度と近似式 不定積分 定積分 面積	6 6 6 6	速度と加速度、近似式 不定積分、置換積分、部分積分 定積分、置換、部分 面積、体積	期末考査
12			6 6 6	曲線の長さ、速度と道のり 共通テスト対策演習 共通テスト対策演習	終業式
1			6 6 6	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	始業式
2			6 6 6 6	個別試験対策演習 個別試験対策演習 個別試験対策演習	期末考査
3					終業式

教科名	数学	科目名	数学活用	単位数	2単位
対象学年	第3学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	進学や就職など多岐にわたる進路希望に対応し、社会生活を送る上で必要となる数学的思考方と基礎的な知識の習得および技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				
学習内容の概要	1年生のときに学習した数学Ⅰ、数学Aの復習を中心に、様々な問題を通して数学Ⅰ、数学Aの知識の習得と技能の習熟の徹底を図る。また、就職試験などに出題される問題演習で実践的な力を身に付ける。				
学習方法	教科書の説明を通じて基礎的な知識を習得し、練習問題を解くことにより内容理解と習熟の徹底を図る。また、基礎的な問題から、就職試験レベルのくせのある問題まで様々な問題を自らが解答することにより知識の習得と技能の習熟の徹底を図る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で加点評価する。出席点は減点法による。				
使用教材	教科書 数学活用(啓林館) 問題集 新編実用数学セミナー				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学Ⅱ分野	世界は数学でできている	2	数学Ⅱ分野の復習	始業式 入学式
		不思議な計算マシン	2		
		数と計算の進化	2		
		地球を測る[1]	2		
5	数学Ⅰ分野 数学A分野	2進法の仕組み	2	数学Ⅰ分野の復習 数学A分野の復習	
		もっと自由に考える[1] もっと自由に考える[2]	2 2		
6	数学Ⅰ分野	塩の稜線	2	数学Ⅰ分野の復習	期末考査
		パソコンで学ぶ幾何学	2		
		新しい幾何学	2		
		美術館の順路を考える	2		
7	数学A分野	優勝チームの決め方	2	数学A分野の復習	終業式 夏期講習
		世界のゲーム・パズル	2		
		河渡りの問題	2		
8		数学パズルにチャレンジ！	2		始業式
		新聞に現れる数値	2		
9		どうやって議席が決まるのか	2		
		表計算ソフトウェアを使ってみよう	2		
		分布を比較する	2		
		数学者という人々	2		
10	数学Ⅱ分野	数学者を悩ませた問題	2	数学Ⅱ分野の復習	中間考査
		無限とパラドックス	2		
		芸術と数学	2		
		音楽と数学	2		
11		敷き詰めの問題	2		期末考査
		あなたの誕生日は何曜日？	2		
		地球を測る[2]	2		
		正多面体を作る	2		
12		数理シミュレーション	2		終業式
		数式処理システムを使ってみよう	2		
		曲線を探す	2		
1		カーナビの秘密	2		始業式
		バーコードの秘密	2		
		素数ゼミと暗号	2		
2	数学Ⅰ分野	パソコンで探る整数問題	2	数学Ⅰ分野の復習	期末考査
		ハノイの塔を解く	2		
		データを予測する	2		
		日本人と数学	2		
3					終業式

教科名	数学	科目名	数学演習Ⅰ	単位数	3単位
対象学年	第3学年 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	数学ⅠA分野を中心に、演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で加点評価する。 出席点は減点法による。				
使用教材	自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学ⅠA演習	数学ⅠA演習	3 3 3	数と式 集合と命題 2次関数	始業式 入学式
5			3 3 3	図形と計量	
6			3 3 3 3	データと分析 場合の数と確率	期末考査
7			3 3 3	図形の性質 整数の性質	終業式 夏期講習
8	数学ⅠA共通テスト対策 演習	共通テスト対策演習	3	数と式	始業式
9			3 3 3 3	集合と命題 2次関数 図形と計量	
10			3 3 3 3	データと分析 場合の数と確率	中間考査
11		数学ⅠA共通テスト対策 演習	3 3 3 3	図形の性質 整数の性質 共通テスト対策演習(ⅠA全範囲)	期末考査
12			3 3 3		終業式
1		個別試験対策演習(ⅠA全範囲)	3 3 3	個別試験対策演習	始業式
2			3 3 3 3		期末考査
3			3 3 3		終業式

教科名	数学	科目名	数学演習Ⅱ	単位数	5単位
対象学年	第3学年 特別進学コースα(文系) 特別進学コースβ(文系)	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で加点評価する。 出席点は減点法による。				
使用教材	自主教材				
その他	特進αは平日の課外学習(80分)で、授業より発展した内容の演習、土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学ⅠA演習	数学ⅠA演習	5 5 5 5	数と式、集合と命題 2次関数、図形と計量 データと分析、場合の数と確率 図形の性質、整数の性質	始業式 入学式
5	数学ⅡB演習	数学ⅡB演習	5 5 5	式と証明・高次方程式 高次方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分と積分	期末考査
6			5 5 5 5	数列 平面上のベクトル 空間座標とベクトル	終業式 夏期講習
7			5 5 5		
8	大学入試共通テスト対策	大学入試共通テスト対策	5	大学入試共通テスト 基礎演習(ⅠA全範囲)	始業式
9			5 5 5 5		
10			5 5 5 5	大学入試共通テスト 基礎演習(ⅡB全範囲)	中間考査
11			5 5 5 5	大学入試共通テスト 応用演習(ⅠA全範囲)	期末考査
12			5 5 5	大学入試共通テスト 応用演習(ⅡB全範囲)	終業式
1	個別試験対策演習		5 5 5	個別試験対策演習	始業式
2			5 5 5 5		期末考査
3					終業式

教科名	数学	科目名	数学演習Ⅱ	単位数	2単位
対象学年	第3学年 進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	1学期は、数学Ⅱ、数学Bの基本問題の復習を行い、2学期以降大学受験レベルの問題を扱う。				
学習方法	教科書の内容を中心に問題集で反復演習を行う。また、適宜小テストを実施し、内容の定着度を確認する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で加点評価する。 出席点は減点法による。				
使用教材	自主教材				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学Ⅱの復習	式と証明 複素数と方程式	2 2 2	3次式の展開と因数定理 整式の割り算 等式・不等式の証明	始業式 入学式
5			2 2 2 2	高次方程式 解と係数の関係 直線の方程式 円の方程式	
6		指数関数と対数関数	2 2 2 2	円と直線 軌跡と方程式 指数関数 対数関数	期末考査
7		三角関数	2 2 2	三角関数 加法定理 合成	終業式 夏期講習
8		微分法と積分法	2	微分	始業式
9	数学Bの復習	数列	2 2 2 2	積分 面積 等差数列と等比数列 色々な数列	
10		ベクトル	2 4	漸化式と数学的帰納法 平面ベクトル	中間考査
11	大学受験対策	数学ⅡB全範囲	4 8	空間ベクトル 私大入試過去問	期末考査
12		数学ⅡB全範囲	8	私大入試過去問	終業式
1		数学ⅡB全範囲	8	私大入試過去問	始業式
2					期末考査
3					終業式

教科名	数学	科目名	数学演習Ⅲ	単位数	2単位
対象学年	第3学年 特別進学コースα(理系)	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	国公立大学現役合格を目指し、共通テストおよび個別学力試験において高得点を取れるように指導し、科目の総合的理解を深める。				
学習内容の概要	演習を行なうことによって、総合的思考力を身につける。				
学習方法	自主制作プリントで反復演習を行い、入試問題を用いて実践演習を行う。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点で加点評価する。 出席点は減点法による。				
使用教材	自主教材				
その他	特進αは平日の課外学習(80分)で、授業より発展した内容の演習、土曜講習(90分)で同様の演習を行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	数学ⅠA演習	数学ⅠA演習	3 3 3	数と式、集合と命題 2次関数、図形と計量 データと分析、場合の数と確率	始業式 入学式
5	数学ⅡB演習	数学ⅡB演習	3 3 3	図形の性質、整数の性質 式と証明・高次方程式 高次方程式	
6			3 3 3 3	図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分と積分	期末考査
7			3 3 3	数列 平面上のベクトル 空間座標とベクトル	終業式 夏期講習
8	大学入試共通テスト対策	大学入試共通テスト対策	3	大学入試共通テスト 基礎演習(ⅠA全範囲)	始業式
9			3 3 3 3		
10			3 3 3 3	大学入試共通テスト 基礎演習(ⅡB全範囲)	中間考査
11			3 3 3 3	大学入試共通テスト 応用演習(ⅠA全範囲)	期末考査
12			3 3 3	大学入試共通テスト 応用演習(ⅡB全範囲)	終業式
1	個別試験対策演習		3 3 3	個別試験対策演習	始業式
2			3 3 3 3		期末考査
3			3 3 3		終業式

教科名		理科	科目名		物理	単位数	4 単位
対象学年		第3学年 普通科特別進学コース理系		履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標		大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の物理分野における一般的な教養を身につけさせることを目標にしている。					
学習内容の概要		自然界における現象を基本的な原理・法則に基づいていることを理解する。					
学習方法		実験や視聴覚教材を利用し、演習問題を通して教科書の内容を理解させる。					
評価の観点・評価方法		教務規定に従い評価する。					
使用教材		教科書、第一学習社 物理 問題集、第一学習社 改訂スタディノート物理・大学入学共通テスト攻略問題集ピーライン物理					
その他		生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出や問題演習を行なう					
年 間 授 業 計 画							
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント		主な学校行事	
4	第Ⅲ章 電気と磁気	第1節 電場と電位 ①電場 ②電位 ③コンデンサー	60	電荷にはたらく遠隔力から電界の存在を理解し、電界のする仕事と位置エネルギーの関係から電位及び電位差を理解させる。コンデンサーの原理と働きを理解させる。導体を移動する自由電子から電流について理解させる。電気抵抗と回路を流れる電流の関係を理解する。電流の向きと大きさについてしっかりと理解させる。電流や電圧の意味を確認しながらキルヒホッフの法則をきちんと理解させる。半導体について、電流が流れる仕組みや特徴を理解させる。 磁場の定義を確認し、直線電流、円電流、ソレノイドの内部それぞれがつくる磁場について理解させる。電流が磁場から受ける力を考察し、運動する荷電粒子が磁場から受ける力(ローレンツ力)について理解させる。 ファラデーの電磁誘導の法則を理解させるとともに、交流の発生の仕組み、自己誘導と相互誘導、交流回路についても理解させる。		始業式	
5		第2節 電流 ①電流と抵抗 ②直流回路 ③半導体				中間考査	
6		第3節 電流と磁場 ①磁場 ②電流が磁場から受ける力 ③ローレンツ力				期末考査 終業式	
7		第4節 電磁誘導と交流 ①電磁誘導 ②交流 ③電磁波					
8	第Ⅳ編 原子	第1節 電子と光 ①電子 ②光の粒子性 ③X線 ④粒子の波動性	24	光子を用いたアインシュタインの考えによって、光電効果が説明できることを理解する。X線の発生とその原理を学習し、特性X線や連続X線、最短波長などについて理解する。物質波について学習し、弱い光源によるヤングの実験をもとに、粒子性と波動性の二重性を理解する。ラザフォードの原子模型、ボーアの原子模型について説明し、水素のエネルギー準位を理解させる。放射線の種類と本体、放射能と放射線の性質と利用について説明し、理解させる。原子核反応の前後で質量数の和と原子番号の和はそれぞれ変わらないことを理解させ、質量欠損、結合エネルギーの定義を正しく理解させる。素粒子とは何かを把握させ、その種類について説明する。		始業式	
9		第2節 原子と原子核 ①原子の構造 ②原子核と放射線 ③核反応とエネルギー ④素粒子と宇宙					
10	問題演習	第Ⅰ章 力学 物理基礎の復習① 運動とエネルギー 1.平面運動と放物運動 2.剛体のつりあい 3.運動量の保存 4.円運動と単振動	60	演習問題を通じて現象を正しく把握し、法則のもつ本来の意義を十分理解させる。 基本から応用まで取り組むようにする。		中間考査	
11		第Ⅱ章 熱 物理基礎の復習② 熱 5.気体の性質と分子の運動				期末考査	
12		第Ⅲ章 波動 物理基礎の復習③ 波動 6.波の性質 7.音波 8.光波					
		第Ⅳ章 電気と磁気 物理基礎の復習④ 電気 9.電場と電位 10.コンデンサー 11.電流				終業式	
1		12.電流と磁場 13.電磁誘導と交流				始業式	
2		第Ⅴ章 原子 14.電子と光 15.原子と原子核					
3						卒業式	

教 科 名	理 科	科 目 名	化 学	単 位 数	4 単 位			
対 象 学 年	第 3 学 年 普通科特進（理系）	履 修 形 態	必 修	授 業 形 態	講 義			
科 目 の 目 標	自然の事物・現象について，化学的に考察する能力と態度を身に付けさせる。							
学 習 内 容 の 概 要	自然界における現象が基本的な原理・法則に基づいていることを理解させる。							
学 習 方 法	教科書の内容を主に講義によって授業を行う。問題集は各自が自宅で学習する。							
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法	教務規定に従い評価する							
使 用 教 材	数研出版「新編 化学」， 数研出版「リードLightノート 化学」							
そ の 他	原則として、各自で希望大学の受験勉強を行う。 基本的に講習は実施できないので、勉強の仕方やわからない所などは自主的に質問すること。							
年 間 授 業 計 画								
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事			
4					始業式			
	物質の変化	化学平衡	10	さまざまな化学反応において、化学平衡の状態について学ぶ。				
	無機物質	非金属元素	18	元素を周期表に基づいて分類し、単体や化合物の性質を広く学ぶ。金属元素は非金属元素とは大きく性質が異なる点に着目して学習する。また、金属元素を典型金属元素と遷移元素に分けその違いについても学ぶ。				
5	典型金属元素							
	遷移元素	10						
6	有機化合物	有機化合物の分類と分析 脂肪族化合物	10	有機化合物の特徴や分類法、成分元素の検出、分子式を求める方法などを学ぶ。分子の構造に基づく有機化合物の考え方を把握する。	期末考査			
7					終業式			
8		アルコールと関連化合物	18		ベンゼン環をもつ化合物の種類とその性質を学ぶ。	始業式		
9		芳香族化合物						
	高分子化合物	高分子化合物の特徴		28			生体を構成する有機化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。合成高分子化合物の組成や構造と性質の関係を学ぶ。	中間考査
10		天然有機化合物 高分子化合物						
11	総復習と共通テスト対策		30		センター試験や模擬試験の過去問、共通テスト用問題集を中心に学習し、実力を養成する。	期末考査		
12				20			国・公・私立大学の過去問を中心に学習し、より深い内容を理解する。	終業式
1	私立、国公立二次対策							
2								
3								

教科名		理科	科目名		生物	単位数	4 単位
対象学年		第3学年 特進理系生物選択		履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標		大学受験を目指す生徒に対し、自然科学の一般的な教養を身につけさせると同時に、大学入試共通テストに必要な最低限の学力をつけさせることを目標とする。					
学習内容の概要		教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う。					
学習方法		演示実験や生徒実験および視聴覚教材を利用しながら教科書の内容を理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる。					
評価の観点・評価方法		教務規定に従い評価する。					
使用教材		教科書、東京書籍 スタンダード生物 問題集、数研出版 六訂版 リードα 生物基礎+生物 数研出版 大学入試共通テスト対策 チェック&演習 生物					
その他		生徒の進路や習熟度に応じて宿題提出を行なう					
年 間 授 業 計 画							
月	項 目	学 習 内 容		時間	学習のポイント		主な学校行事
4	第3編 生殖と発生	第2章 動物の発生 1.精子と卵の形成 2.発生の進み方 第3章 動物の発生のしくみ 1.動物の体軸と軸形成 2.胚の細胞の分化と器官形成 3.動物の形を決める遺伝子 4.発生研究の成果と応用 第4章 植物の発生 1.被子植物の生殖と発生 2.花の形態形成のしくみ		24	動物の発生について受精卵から生体までの過程を理解させる。その過程ではどのような仕組みがはたしているか、両生類や昆虫類について理解させる。 動物の発生と比較しながら、被子植物の生殖と発生・分化について学ぶ。		始業式
5		第4編 生物の環境応答	第1章 動物の刺激の受容と反応 1.刺激の受容から反応へ 2.興奮の伝導と伝達 3.光・音・平衡感覚の受容のしくみ 4.中枢神経での情報処理 第2章 動物の行動 1.動物の行動をめぐる4つのなぜ 2.動物の行動の例 第3章 植物の環境応答 1.植物の一生にかかわる環境応答 2.環境要因による発芽の調節 3.栄養成長の調節 4.気孔の開閉の調節 5.花芽形成の調節 6.葉の老化の調節と紅葉・落葉のしくみ 7.ストレスに対する植物の応答				26
6						期末考査	
7	第5編 生態と環境	第1章 生物の多様性と生態学 1.生物の多様性を守るために 第2章 個体群と生物群集 1.個体群と環境 2.個体群の構造と成長 3.個体間の相互作用 4.種間の相互作用 5.生物群集の成り立ちと多種の共存 第3章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ 1.食物網と物質生産 2.生態系の構造とエネルギーの流れ 第4章 生態系と生物多様性 1.生物多様性とその意味 2.生物多様性を減少させる要因 3.生物多様性の保全と復元		28	生態学を学ぶ意図を考える。自然界の生物が同種・異種とどのような関係を持ち、共存しているか理解する。 生態系の中で有機物の生産やエネルギーの流れに対し生物の関わり合いを学ぶ。 生物多様性とは何か、ヒトと他の生物との関わりも含め考えさせる。		終業式
8							始業式
9	第6編 生物の進化と系統	第1章 生命の起源と生物の変遷 1.生命の起源 2.地球環境の変化と真核生物の誕生 3.生物の変遷 4.人類の変遷 第2章 進化のしくみ 1.進化 2.生物の個体間の変異とその起源 3.遺伝子頻度とその変化のしくみ 4.種分化 第3章 生物の系統 1.生物の系統と系統関係の推定 2.生物の世界の3ドメイン		24	生命の起源および生物の変遷と地球環境の変化を理解させる。分子進化の概念や種分化のしくみについても学習する。 生物の種類は多様であるが、それらが系統によって分類できることを理解させる。その際、形態的な分類、DNAの塩基配列やタンパク質のアミノ酸配列といった分子データにもとづいて系統関係が調べられていることについても扱う。		
10							
11	共通テスト対策			22	生徒個々の進路に応じ受験対策にあてる。		中間考査
12							期末考査
1	2次試験対策			20	生徒個々の進路に応じ受験対策にあてる。		始業式
2							共通テスト
3							卒業式

教科名	理科	科目名	理科演習	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 特進(α 文系 β 国文選択)	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	大学受験を目指す普通科の生徒に対し、自然科学の一般的な教養を身につけさせると同時に、共通テストに必要最低限の学力をつけさせることを目標とする。				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う。				
学習方法	1・2年次に学習した基礎的な知識をもとにして教科書の内容を総合的に理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い評価する。				
使用教材	教科書、数研出版 新編 生物基礎、数研出版 改訂版新編化学基礎、数研出版 新編 地学基礎 問題集等、数研出版 リード α 生物基礎、数研出版 四訂版リードLight化学基礎、 数研出版 リードlightノート地学基礎、浜島書店 新地学図表				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて課題・宿題提出を行なう				

年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	【生物基礎】 生物の特徴 遺伝子とそのはたらき 生物の体内環境 植生の多様性と分布 生態系とその保全 【生物基礎】 生物と遺伝子 生物の体内環境の維持 生物の多様性と生態系 【化学基礎】 物質の構成と化学結合 物質の構成粒子 粒子の結合 物質と化学反応式 酸と塩基の反応 酸化還元反応 【地学基礎】 惑星としての地球 活動する地球 活動する地球 移り変わる地球 大気と海洋 宇宙の構成 地球の環境	【生物基礎】 生物の特徴 遺伝子とそのはたらき 生物の体内環境 植生の多様性と分布 生態系とその保全 【化学基礎】 混合物と純物質 物質とその成分 物質の三態と熱運動 原子とその構造 イオン イオン結合とイオンからなる物質 分子と共有結合 共有結合結晶 金属結合と金属 原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と物質質量 酸・塩基 水の電離と水溶液のpH 中和反応 塩 酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用 【地学基礎】 太陽系の中の地球 地球の形と大きさ 地球の構造 プレートの運動とそれに伴う現象火山 地震と地殻変動 地層の形成 古生物の変遷と地球環境 地球の熱収支 大気と海水の運動 太陽と恒星 宇宙のすがた 環境と人間 日本の自然環境	72	1年次受講した化学基礎と地学基礎、及び2年次受講した生物基礎の基礎学力の定着を問題集等を用い行う。また、各外部模試の対策も行う。 大学入試共通テストに向け、生徒の進路に合わせ基礎科目2つ及び1つに照準を絞って問題演習を行う。 問題に対する解説や、生徒からの質問に対応するなど適宜行う。	始業式
5					中間考査
6					期末考査
7					終業式
8					始業式
9					
10					中間考査
11					
12					期末考査 終業式
1					始業式
2					
3					卒業式 終業式

教科名	理科	科目名	理科演習	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科進学(選択者)	履修形態	必修	授業形態	【講義・演習】
科目の目標	看護系や公務員系に進む普通科の生徒に対し、進路決定に必要な必要最低限の学力をつけさせることを目標とする。				
学習内容の概要	教科書の内容に準じた知識の習得と、自然科学の探求に必要な思考力を問う。				
学習方法	1、2年次に学んだ基礎的な知識をもとにして教科書の内容を総合的に理解させる。また、問題演習を通じて思考力や計算力を身につけさせる。				
評価の観点・評価方法	教務規定に従い、一学期・二学期・三学期とも評価する。				
使用教材	教科書、数研出版 改訂版 新編 生物基礎、化学基礎 問題集、数研出版 改訂版 新編 化学基礎				
その他	生徒の進路や習熟度に応じて個別指導を行なう				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	理科演習	化学基礎演習 生物基礎演習	42	1, 2年次に学習した基本内容を復習し、問題演習などを通して理解を深める。	始業式
5					中間考査
6					期末考査
7					終業式
8			54	進学先や受験に必要な生徒に対して個別に理解を深めるよう指導する。	始業式
9					
10					中間考査
11					期末考査
12					終業式
1			9		始業式 卒業考査
2					
3				卒業式	

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科	履修形態	必修	授業形態	実技
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を高める。				
学習方法	陸上・マット運動・サッカーを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲を高めるとともに互いに協力して運動ができるようにする。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験、観点別評価、出席点での評価とする。				
使用教材					
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	陸上	跳躍	3 3 3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式
5		投てき	3 3 3		中間考査
6		競走	3 3 3		期末考査
7		跳躍・投てき・競走	3 3 3	測定。	終業式 夏期補習
8	バレーボール		3	パスの種類を覚える。 (オーバーパス、アンダーパス) 正しいパスの仕方を学ぶ。	始業式
9		パス	3 3 3		学校祭
10		ドリブルシュート	3 3 3		中間考査
11		ゲーム	3 3 3		期末考査
12	バスケットボール	パス	3 3 3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。 ルールを学ぶ。	終業式
1		ドリブルシュート	3 3 3		始業式
2		ゲーム	3 3 3		入試 期末考査
3					終業式

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3 単位	
対象学年	第3学年 普通科女子	履修形態	必修	授業形態	実技	
科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。					
学習内容の概要	運動やスポーツの基礎・基本や安全について、しっかり学習し、自分で計画、工夫していける能力を完成させる。					
学習方法	陸上・バドミントン・バスケットボールを通して、グループ活動の中で協調性を養う事で、関心や意欲をより高めるとともに常に互いに協力して運動ができるようにする。					
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも実技試験、観点別評価、出席点での評価とする。					
使用教材						
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	陸上	跳躍	3 3 3	自己の能力に応じた課題を 目指し計画的な練習の仕方を 工夫する。	始業式	
5		投てき	3 3 3		中間考査	
6		競走	3 3 3		期末考査	
7		跳躍・投てき・競走	3 3 3	測定。	終業式 夏期補習	
8		バドミントン	サーブ	3	サーブの種類を 覚える 回数を決めて連続で 打ち合えるようにする。	始業式
9			乱打	3 3 3		学校祭 中間考査
10			スマッシュ	3 3 3	スマッシュの種類を覚えて、 思い切り打てるようにさせる。 協調性を高める学習をする。	
11	ゲーム		3 3 3	期末考査		
12	バスケットボール		パス	3 3 3	パスの種類を覚える。 正しいパスの仕方を学ぶ。	終業式
1		ドリブルシュート	3 3 3	ドリブルとシュートのタイミング に注意しながら練習する。	始業式	
2		ゲーム	3 3 3	協調性を高める学習をする。	入試	
3					期末考査	
					終業式	

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ		単位数	4単位
対象学年	第3学年 特別進学コースαβ		履修形態	必修	授業形態	【講義】
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。					
学習内容の概要						
学習方法	1. 教科書の各単元に対する予習 1)『予習ノート』 2)Classi に配信する内容把握問題 2. 音声に関する練習 1)リスニングによる内容把握練習 2)シャドーイング 3)発声練習 3. 各単元末の問題 1)内容把握問題 2)ディスカッション					
評価の観点 評価方法	1. 平常点(本校英語科設定の観点別評価に依る)(20%) 2. 出席点(10%) 3. 考查点(70%)					
使用教材	●教科書、 <i>Revised LANDMARK English Communicaion III</i> (啓林館、2018) ●ワークブック、上記教科書準拠、『予習ノート』(啓林館、2018)					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	●Lesson 1	●Caffeine: The World’s Favorite Drug	12	●テキストを通じて、理由や根拠も鑑みながら日常的に摂取しているカフェインについて見直し、自分の意見を発信させる。	始業式 新入生オリエンテーション	
5	●Lesson 2	●Blood Is Blood	8	●テキストを通じて、理由や根拠も鑑みながら(日常レベルにおける広い意味での)異なる文化圏の人々と共存するために何が大切なのかを考え、自分の意見を発信させる。	中間考査	
	●Lesson 3	●Australia and its Creatures	8	●テキストを通じて、オーストラリア独自の生態系に関して、どんなことが自分たちにとって興味深かったか、驚異的であったかを振り返り、自分の意見を発信させる。		
6	●Lesson 4	●The \$100,000 Salt and Pepper Shaker	8	●テキストを通じて、日常生活のなかで、自分たちの行動(親切・やさしさ)が他者にどのような影響を及ぼすかを思い出し、考えさせ、自分の意見を発信させる。	期末考査	
	●Lesson 5	●Bilingual Effects in the Brain	8	●テキストを通じて、バイリンガルになることの利点を理解しながら、今後、どの第2言語を身につけ、どのように生きていきたいか、自分の意見を発信させる。		
			8			
7	●Lesson 6	●Communication without Words	4	●テキストを通じて、学んだことを元に、デートなど、自分たちの日常生活においてもジェスチャーがいかに重要な役割を果たすかを考え、自分の意見を発信させる。	終業式	
8	●Lesson 6 (続き)		4		始業式	
9	●Lesson 7	●Political Correctness	16	●テキストを通じて、“political correctness”について理解し、その上で、できるかぎり自分たちの日常生活に対応させながら、その行使が、どんな場合に、なぜ難しいかを考えさせ、自分の意見を発信させる。		
10	●Lesson 8	●Animal Math	16	●テキストを通じて、ヒトを含めた動物が自然界で生き残るために数的処理を行うようになったことを理解し、そのことを踏まえながら、自分たちの日常生活のなかで数学がいかに有益であるかを例示させ、自分の意見を発信させる。	中間考査	
11	●Lesson 9	●The Story of My Life	16	●テキストを通じて、サリバン先生の教育方法を理解するなかで、もしも自分ならば「愛」をどのように表すか、またその理由は何かを考えさせ、自分の意見を発信させる。	期末考査	
12	●Lesson 10	●Extinction of Languages	16	●テキストを通じて、少数言語が減びつつある現状を学んだ上で。英語はそれらの言語に取って代わるべきかどうかを考えさせ、自分の意見を発信させる。		
1	●Lesson 11	●Learning a First Culture	16	●テキストを通じて、子どもは大人と接触することで社会に適応していくことを学んだことをモデルとして、自分たちの類似体験について振り返らせ、自分の意見を発信させる。	始業式・実力テスト	
2	●Lesson 12	●Light Pollution	16	●テキストを通じて、光害について学んだ上で、明るい夜と暗い夜のうち、どちらがいいかを理由を含めて考えさせ、自分の意見を発信させる。	期末考査	
3	●二次試験指導	●個別指導	8	●個別に入試問題の演習をする。	卒業式	
					終業式	

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	4単位
対象学年	第3学年進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標		英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。			
学習内容の概要		教科書各課の題材内容やそれに関する情報などを読み聞かして理解し、分かったことやそれに関する自身の意見を書いたり聞き手に伝えたりする。			
学習方法		教科書付属の予習完成ノートを使った題材内容理解。教科書音読練習／リスニング問題／内容に関する質問／ペア・グループワークによる意見交換／作文演習			
評価の観点		既習の知識・技能の活用力／題材を扱う中での思考・判断・表現力／主体的に課題やコミュニケーションに取り組む態度			
評価方法		小テスト・定期考査／発表／課題等の提出／授業に対する態度			
使用教材		LANDMARK Fit English Communication Ⅲおよび(同) 予習・完成ノート			
年 間 授 業 計 画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な行事
4	ディスコース マーカー Lesson 1	ディスコースマーカーに注目して英文を読もう！ Emperor Penguins	4	英文読解に必要な基礎知識を身に付ける。 コウテイペンギンの特徴や生活を読み聞かして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。	始業式
			4		
			4		
			4		
5	Lesson 2	Caffeine	4	カフェイン摂取の利害や文化との関わりを読み聞かして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。	中間考査
			4		
			4		
			4		
6	Lesson 3	Blood Is Blood	4	黒人差別とそれと戦うドローについて読み聞かして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。	期末考査
			4		
			4		
			4		
7	Lesson 4	Biomimetics	4	バイオミメティクスとその応用について読み聞かして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。	スポーツ祭 終業式
			4		
			4		
			4		
8	Lesson 5	Communication without Words		ボディーランゲージとその必要性を読み聞かして理解し、それに関する自身の意見を書いたり発表する。	始業式
			4		
9	Lesson 6	Christmas Truce	4	クリスマス期間の停戦の様子を読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	
			4		
			4		
			4		
10	Lesson 7	Political Correctness	4	差別や偏見のない用語の使用について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	中間考査 学校祭
			4		
			4		
			4		
11	Lesson 8	Global Water Crisis	4	世界的な水不足の実態と対策について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	
			4		
			4		
			4		
12	Lesson 9	Animal Math	4	動物が生来持つ数学的な能力について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	期末考査 終業式
			4		
			4		
			4		
1	Lesson 10	The Poorest President in the World	4	ウルグアイの元大統領ムヒカの政策や方針について読み聞かして理解し、自身の意見を書いたり発表する。	始業式 卒業考査
			4		
			4		
			4		
2					
3					卒業式

教科名	外国語(英語)	科目名	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどを理解したり伝えたりすることを実践するように具体的な言語の使用場面を設定して言語活動を英語で行う。				
学習方法	聞いたことや読んだことを踏まえた上で話したり書いたりするといった4技能を結びつけた言語活動を通してコミュニケーション能力を育成する。生徒の実態に応じて、基礎的な学習事項を復習整理し、習熟するように指導する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点については観点別評価を踏まえ、評価する。				
使用教材	All Aboard! English Communication Ⅲ (東京書籍) All Aboard! English Communication Ⅲ WORKBOOK (東京書籍) クラウン チャンクで英単語 Basic (三省堂) ベーシックジーニアス英和辞典 (大修館書店)				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson1 Mystery Circles under the Sea	アマミホシゾラフグの生態について読み、その特徴を学ぶ。	3 3 3	動詞の現在形・過去形	始業式 新入生合宿
5	Lesson2 Gifts to Barcelona	ガウディのデザインによるユニークな建築物の特徴とバルセロナにおけるそれらの意味について学ぶ。	3 3 3 3	現在完了形	中間考査
6	Lesson3 Images on Coins	硬貨・紙幣のデザインを通してその国や地域を象徴するものについて学ぶ。	3 3 3 3	不定詞・動名詞	期末考査
7	Lesson4 Witnesses of War	戦争中に路面電車の運転士となった女子生徒の経験について学び、路面電車が広島の復興に果たした役割について考える。	3 3	受け身	終業式 夏期補習
8	Lesson4 Witnesses of War	戦争中に路面電車の運転士となった女子生徒の経験について学び、路面電車が広島の復興に果たした役割について考える。	3	受け身	始業式
9	Lesson5 Love Letters	手書きの手紙を送るハナさんの取り組みについて学ぶ。	3 3 3 3	関係代名詞	
10	Lesson6 The Natural Treasures of Ogasawara	世界自然遺産に登録された小笠原諸島の現状と直面する問題について学ぶ。	3 3 3 3	仮定法過去	中間考査
11	Lesson7 The Terracotta Warriors	秦の始皇帝と彼が作らせた兵馬俑の謎について学ぶ。	3 3 3 3	関係代名詞	期末考査
12	Lesson8 The Journey of Our Clothes	普段身につけている洋服がどこから来たのか考え、また、エシカル・ファッションについて学ぶ。	3 3 3	後置修飾の分詞	終業式
1	Lesson8 The Journey of Our Clothes	普段身につけている洋服がどこから来たのか考え、また、エシカル・ファッションについて学ぶ。	3 3 3	後置修飾の分詞	始業式
2	Lesson9 Challenges for the Future	エネルギー問題について日本と中米のコスタリカを比較しながらまなぶ	3 3 3 3	比較表現	期末考査
3	Lesson10 The Story of Ruby Bridges	アメリカの公民権運動の象徴のひとつとなったルビー・ブリッジズさんについて学ぶ。	3 3 3	分詞構文	終業式

教科名	外国語（英語）	科目名	英語表現 I	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年 特別進学コース β 文系	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	① 情報や考えなどを、場面や目的に応じて英語で書く能力を更に伸ばすこと。 ② この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。				
学習内容の概要	生徒が情報や考えなどの送り手や受け手になるように具体的な言語の使用場面を設定する。その場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書くこと。				
学習方法	聞くこと、話すことおよび読むことも有機的に関連付けた活動を行いながら、より豊かな内容やより適切な形式で書けるように学習する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は観点別評価を踏まえ、評価する。				
使用教材	Vision Quest English Expression I Standard・Keirinkan				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Lesson 1	Let's have lunch together sometime.	2 2 2	Introductions Intonation Backchannel responses Types of sentences	始業式
5	Lesson 2	Are you interested in Japanese anime?	2 2 1 2	Interests Rhythm Rephrasing Changing the subject Sentence patterns and verbs	中間考査
6	Lesson 3	I'm going to Okinawa with my family.	2 2 2 2	Travel Vowels Making plans / scheduling Tense	期末考査
7	Lesson 4	I hear you've joined the soccer team.	2 2 2	Sports Consonants Stating causes or reasons Perfect aspect	終業式
8	Lesson 5	Can you tell me what ammitsu is like?	2	Eating out Katakana words Asking for permission Asking favors Auxiliary Verbs	始業式
9	Lesson 6	I'm so glad I can see the Sydney Opera House.	2 2 2 2	Sightseeing Pronunciation of numbers Expressing pleasure / surprise Passive voice	
10	Lesson 7	It's very nice of you to say so.	2 1 2 2	Socializing Word stress Thanking Apologizing Infinitives	中間考査
11	Lesson 8	How about going to see a musical?	2 2 2 2	Pastimes Sound links Inviting someone Making offers Gerunds	期末考査
12	Lesson 9 Lesson 10	I'm for school uniforms. How do you spend Christmas?	2 2 2	Rules Agreeing / Disagreeing Participles Cultures Explaining Relative clauses	終業式
1	Lesson 11 Lesson 12	Did you watch the debate on TV last night? I wish my parents were more understanding.	2 2 2	Social problems Asserting Comparison Personal problems Giving advice Subjunctive	始業式
2	Exercise Lesson	Exercises for entrance examinations	2 2 2 2		
3					卒業式

教科名	外国語(英語)	科目名	英語演習	単位数	2単位
対象学年	第3学年 普通科 特別進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	①大学入試に必要な英語基礎の再構築 ②大学入試問題に対する実践力の育成				
学習内容の概要	大学入試共通テストの試行調査(プレテスト)問題の対策問題演習。解答に必要な文法事項や語彙指導をしたうえで、出題形式別の問題演習に取り組む。リスニングでは				
学習方法	別冊付録の形式別対策記事Navigatorを予習させうえて、各問の目標時間内に区切って問題を解き、残った時間で解説を行う。関連する類題を演習させ、反復することによって定着を図る。				
評価の観点及び評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	共通テスト対策【実力養成】 重要問題演習 リーディング / リスニング (それぞれ別冊付録予習Navigator)				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	プレテスト読解問題 問題出題内容 本書の使い方 第1問A	自己紹介・アイスブレイク	2	リーディング編 ①出題形式に慣れる ◆意見(主観)と事実(客観)の違い ◆情報を整理し要約する力 ◆アメリカ英語とイギリス英語の違い ②テキストに応じた読解力をつける ◆メモ・ウェブサイト・雑誌など多様 ◆必要とされる情報の読み取り ◆概要を把握する力 ◆要点を把握する力 ③戦略的な解き方を身に着ける ◆80分で3,400wordsの問題 ◆1題にかける時間を把握 ◆正解を選ぶことのできる知識 ◆消去法などの解き方を確立 ④文法・語彙・語法力の習得 ◆正確な使い方 ◆つなぎ語や言い換え表現 ◆図表問題特有の重要表現 ■感情動詞、性格・心情形容詞 リスニング編 ①出題形式ごとの設問に慣れる ◆身の回りの事柄に関する短い発話 ◆要点や意図の把握 ◆状況や条件により判断する力 ◆身近な話題や社会的な議論 ②一回で聞き取る練習をする ◆音声読み上げが一回の設問 ◆一問で260wordsの長い講義 ◆時制を正しく聞き取る ③情報処理の力を身につける ◆複数の情報を聞いて判断 ◆図表資料と合わせて判断 ◆共通点・相違点の整理 ④効率的なメモの取り方を身に着ける ◆一回の音声は必ず簡潔メモ ◆数値は必ず数値化してメモ ◆簡略化・記号化・関係図化	始業式
		勉強の仕方	2		
5	第1問B 第2問A 第2問B 第3問A	告知(メール・広告)＋類題	2		
		告知(メール・広告)＋類題	2		
		記事(短い説明文)＋類題	2		
		記事(短い説明文)＋類題	2		
6	第3問B 第4問 第4問 第5問	記事(短い物語)＋類題	2		
		記事(短い物語)＋類題	2		
		複数の記事と図表	2		
		上記の類題	2		
7	第6問A 第6問B	上記の類題	2		
		記事(物語・説明文)	2		
		記事(説明文)	2		
		記事(説明文)	2		
8	プレテスト聞き取り問題 第1問A	上記の類題	1		
		短文・英文選択	1		
9	第1問B 第2問 第3問 第4問A－1	短文・イラスト選択	2		
		短会話・Q&A・イラスト選択	2		
		短会話・Q&A選択	2		
		モノログ・イラスト並べ替え	2		
10	第4問A－2 第4問B 第5問 第6問A	モノログ・図表完成	2		
		モノログ・条件に基づく選択	2		
		モノログ・ワークシート完成	2		
		対話文	2		
11	第6問B	会話文(話者4人)	2		
		以下反復	2		
		類題演習	2		
		類題演習	2		
12		類題演習	2		
		類題演習	2		
		類題演習	2		
		類題演習	2		
1		類題演習	2		
		類題演習	2		
		類題演習	2		
2		類題演習	2		
		類題演習	2		
		類題演習	2		
		類題演習	2		
3					卒業式

教科名	外国語(英語)	科目名	英語演習	単位数	2単位
対象学年	第3学年進学コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標		英語を通じて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。			
学習内容の概要		演習問題に取り組みながら、必要な基礎知識を身に付け、応用しながら活用の幅を広げる。			
学習方法		基礎文法事項を理解し演習問題を解く。応用問題を読む・聞く・書く・話す。			
評価の観点		既習の知識・技能の活用力／題材を扱う中での思考・判断・表現力／主体的に課題やコミュニケーションに取り組む態度			
評価方法		小テスト・定期考査／発表／課題等の提出／授業に対する態度			
使用教材		Evergreen English Grammar 23／その他			
年 間 授 業 計 画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な行事
4	Intro 1～5	英語文法基礎知識	2	現在・過去・未来の英語での扱い方を理解し用法を身に付ける。	始業式
	Lesson 1	動詞と時制(1)	2		
	Lesson 2	動詞と時制(2)	2		
	Lesson 3	動詞と時制(3)	2		
5	Lesson 4	完了形(1)	2	完了形を理解しその用法を身に付ける。	中間考査
	Plus 完了形		2		
	Lesson 5	完了形(2)	2		
	Lesson 6	助動詞(1)	2		
6	Lesson 7	助動詞(2)	2	各助動詞の表現内容を理解しその用法を身に付ける。 受動態の様々な表現の形を理解しその用法を身に付ける。	期末考査
	Plus 助動詞		2		
	Lesson 8	態(1)	2		
	Lesson 9	態(2)	2		
7	Plus 態		2	不定詞の各用法を理解し身に付ける。	スポーツ祭
	Lesson 10	不定詞(1)	2		終業式
	Lesson 11	不定詞(2)	2		
8					始業式
	Lesson 12	不定詞(3)	2		
9	Plus 不定詞①		2	動名詞の働きと用法を身に付ける。 動名詞と不定詞の使い分けを身に付ける。	
	Plus 不定詞②		2		
	Lesson 13	動名詞	2		
	Plus 動名詞		2		
	Plus 動名詞と不定詞		2		
10	Lesson 14	分詞(1)	2	分詞の意味とその用法を身に付ける。	中間考査 学校祭
	Lesson 15	分詞(2)	2		
	Lesson 16	分詞(3)	2		
	Plus 分詞		2		
	11	Lesson 17	比較(1)		
Lesson 18		比較(2)	2		
Plus 比較			2		
Lesson 19		関係詞(1)	2		
12	Lesson 20	関係詞(2)	2		期末考査
	Lesson 21	関係詞(3)	2		終業式
	Plus 関係詞		2		
	1	Lesson 22	仮定法(1)		2
Lesson 23		仮定法(2)	2	卒業考査	
Plus 仮定法			2		
Option			2		
2					
3					卒業式

教科名	外国語(英語)	科目名	英語演習	単位数	2単位
対象学年	第3学年 総合選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・演習
科目の目標	最も基本的な中学校の英語の復習からスタートし、高校の英語力も身につけることができるようにする。				
学習内容の概要	中学校で習った英文法の復習や高等学校における新出の英文法を学習する。				
学習方法	生徒の実態に応じて、問題集やプリントなど補助教材を併用し、中学校における基礎的な学習事項を復習整理し、習熟するように指導する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点20点は授業態度・意欲・提出物の状況・理解度の4項目各5点で評価する。				
使用教材	LEARNER'S ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGE(数研出版)				
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	LEARNER S ENGLISH	学習に必要な基礎知識 文の種類(1) pp.4-5 文の種類(2) pp.8-9 動詞の形の変化 pp.10-11 pp.12-13	2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	始業式
5	LEARNER S ENGLISH	現在時制・過去時制 pp.14-15 未来表現 pp.16-17 完了形(Ⅰ) pp.18-19 完了形(Ⅱ) pp.20-21	2 2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	中間考査
6	LEARNER S ENGLISH	不定詞(Ⅰ) pp.34-35 不定詞(Ⅱ) pp.36-37 不定詞(Ⅲ) pp.38-39 不定詞 pp.40-41	2 2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	期末考査
7	LEARNER S ENGLISH	動名詞 pp.42-43 動名詞 pp.44-45	2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	終業式 夏期補習
8	LEARNER S ENGLISH				
		受動態(Ⅰ) pp.30-31	2		始業式
9	LEARNER S ENGLISH	受動態(Ⅱ) pp.32-33 比較(Ⅰ) pp.50-51 比較(Ⅱ) pp.52-53 関係詞(Ⅰ) pp.56-57	2 2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	
10	LEARNER S ENGLISH	関係詞(Ⅱ) pp.58-59 関係詞(Ⅲ) pp.60-61 関係詞 pp.62-63 仮定法(Ⅰ) pp.64-65	2 2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	中間考査
11	LEARNER S ENGLISH	仮定法(Ⅱ) pp.66-67 接続詞 pp.68-69 話法 pp.70-71 否定 pp.72-73	2 2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	期末考査
12	LEARNER S ENGLISH	強調・倒置・省略 pp.74-75 無生物主語・名詞構文 pp.76-77 前置詞 pp.78-79	2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	終業式
1	LEARNER S ENGLISH	分詞(Ⅰ) pp.46-47 分詞(Ⅱ) pp.48-49 比較(Ⅰ) pp.50-51	2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	始業式 卒業考査
2	LEARNER S ENGLISH	比較(Ⅱ) pp.52-53 助動詞(Ⅰ) pp.22-23 助動詞(Ⅱ) pp.24-25 代名詞 pp.82-83	2 2 2 2	重要表現・語彙・文法の確認／ 素早く内容をつかむ／習った表現を言う・聴く・書く	
3					卒業式

教科名	商 業	科目名	課題研究	単位数	2 単位
対 象 学 年	第 3 学 年 進学コース	履修形態	選択	授業形態	講義
科目の目標	社会に出れば学生時代とは異なり、責任と義務が大きくなる。社会では常に全力をつくして仕事に取り組まなければならない。学生時代に社会人として必要なマナーと知識を習得させ、身につけ実践させることにより、ビジネスの諸活動が快適かつ意欲的に過ごせるよう学習させる。				
学 習 内 容 の 要 概	秘書検定の内容を通じてオフィスでの基本を身につけさせる。 労働基準法の内容を取り扱い、働くということが法的な観点から見てどのようなものなのかを理解させる。				
学 習 方 法	座学による学習。单元ごとに問題を与え、理解度を図る。				
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法	規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は観点別評価による。				
使 用 教 材	自主教材テキスト『ビジネスマナー』				
そ の 他	原則的に補習は行わない。 秘書検定3級取得を目指す。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	身だしなみ オフィス環境	望まれる身だしなみ 室内清掃、環境整備	6	・服装全般を中心に職場において望まれる身だしなみについて理解させる。 ・応接室、会議室など清掃、整備のポイントを理解させる。	始業式
5	オフィス用品 文書	ファイリングと資料管理 名刺の管理 主な事務用品 各種消耗品 受発信文書 マル秘文書の取り扱い	8	・資料や名刺の管理に必要な道具と整理の仕方、資料管理の重要性について理解させる。 ・基本的な文書構成、文書の取り扱いについて理解させる。	中間考査
6	郵便物 対話・言葉遣い 電話応対	各種郵便物 特殊取扱郵便物 尊敬語 謙譲語 電話のかけ方、受け方	8	・各種郵便物の特徴、特殊取扱郵便物の種類と特徴について理解さ ・敬語の種類と使い分けについて理解させる。 ・電話応対の注意点を理解させる。	
7	慶弔・贈答	慶事、弔事 各種贈答	4	・各種慶弔・贈答に必要な知識、注意事項を理解させる。	期末考査 終業式
8	来客応対	席次 上司不在の場合 茶菓接待	2	・来客の応対に必要な注意点について理解させる。	始業式
9	会議とその準備 出張とその準備	事前準備と後始末 出張における秘書の仕事	8	・会議における秘書の役割について理解させる。 ・出張時の秘書の仕事について理解させる。	
10	検定練習	過去問練習	8	・実問題集を用いて検定試験に備える。	中間考査
11	検定練習 労働者とは？使用者とは？ 労働契約 就業規則	過去問練習 労基法上の労働者、使用者 労働契約とは 就業規則の作成について	8	・実問題集を用いて検定試験に備える。 ・労基法に定める労働者、使用者の違いについて理解させる。 ・法的な観点から労働契約、就業規則について理解させる。	秘書検定
12	労使協定と労働協約 内定と試用期間	労使協定とは 内定とは	6	・労使協定、労働協約の概略について理解させる。 ・内定、試用期間について理解させる。	期末考査 終業式
1	賃金 労働時間と休憩	賃金とは 労働時間について	6	・賃金支払の5原則等について理解させる。 ・労働時間と36協定について理解させる。	始業式 卒業考査
2	休日と休暇 労災保険	法定休日、年次有給休暇について 各種給付について	8	・法定休日や年次有給休暇の概略について理解させる。 ・労災保険の各種給付、通勤災害について理解させる。	
3					卒業式

教科名	商 業	科目名	課題研究	単位数	4単位
対 象 学 年	第 3 学 年 総合選択コース ビジネス関連選択	履修形態	選択	授業形態	講義
科目の目標	電卓の機能を応用し、様々な計算方法を身につけさせるとともに、全国商業高等学校協会主催電卓計算実務検定において1級の資格取得を目指す。				
学 習 内 容 の 要 概	教師の操作方法についての説明の後、与えられた問題を解いていく。				
学 習 方 法	プリント、テキストにある問題を電卓を用いて段階的に解いていく。				
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法	規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は観点別評価による。				
使 用 教 材	本校指定の電卓 実教出版「珠算・電卓実務検定模擬試験問題集1級」				
そ の 他	原則的に補習は行わない。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	検定学習	全商協会主催電卓実務検定 普通計算	12	全国商業高等学校協会主催電卓実務検定1級で出題される乗算・除算・見取算・伝票算問題の解き方について説明し、理解させる。	始業式
5	検定学習	全商協会主催電卓実務検定 普通計算	16	引き続き、乗算・除算・見取算・伝票算問題の解き方について説明し、理解させる。	中間考査
6	検定学習	全商協会主催電卓実務検定 普通計算 ビジネス計算	16	引き続き、乗算・除算・見取算・伝票算問題の解き方について説明し、理解させ、6月検定後にビジネス計算問題の解き方について説明し、理解させる。	全商検定1級普通計算
7	検定学習	全商協会主催電卓実務検定 ビジネス計算	8	全国商業高等学校協会主催電卓実務検定1級で出題されるビジネス計算問題の解き方について説明し、理解させる。	期末考査 終業式
8	検定学習	全商協会主催電卓実務検定 ビジネス計算	4	引き続き、ビジネス計算問題の解き方について説明し、理解させる。	始業式
9	検定学習	全商協会主催電卓実務検定 ビジネス計算	16	引き続き、ビジネス計算問題の解き方について説明し、理解させる。	
10	検定学習	全商協会主催電卓実務検定 ビジネス計算	16	引き続き、ビジネス計算問題の解き方について説明し、理解させる。	中間考査
11	検定学習 発展学習	全商協会主催電卓実務検定 ビジネス計算 ビジネス計算発展学習	16	引き続き、ビジネス計算問題の解き方について説明し、理解させる。 11月検定後にこれまでに習得した知識・技能を用いて発展学習に取り組ませる。	全商検定1級ビジネス計算
12	発展学習	ビジネス計算発展学習	12	これまでに習得した知識・技能を用いて発展学習に取り組ませる。	期末考査 終業式
1	発展学習	ビジネス計算発展学習	12	これまでに習得した知識・技能を用いて発展学習に取り組ませる。	始業式 卒業考査
2	発展学習	ビジネス計算発展学習	16	これまでに習得した知識・技能を用いて発展学習に取り組ませる。	
3					卒業式

教科名	商業	科目名	課題研究	単位数	4単位
対象学年	第3学年 普通科総合選択 ビジネスコース	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	この科目は普通科総合選択のビジネスコースの生徒に対し、3年次において全商簿記検定2級を取得することを目指すとしている。3級で学んだ個人企業の基本的な内容に加えて、特殊な取引・株式会社会計の基本内容を学ぶことにより、更に企業の経済活動への理解を深めることを図る。				
学習内容の概要	全商2級までの範囲の学習を通し、帳簿記入によって企業の経済活動を把握する力を養うとともに、経済・経営への興味・関心の啓発をはかる。また、検定試験を目標とした演習等において範囲の総復習と習熟を図る。				
学習方法	帳簿記入に用いられる科目を、分野・段階別に学習して行き、各段階における学習効果の充実に努める。生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価とし、知識・技能・思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む姿勢を客観的に判断し、20点満点で評価する。				
使用教材	ア. 実教出版「新簿記」 イ. 東京法令出版「完全段階式 標準簿記問題集」《全商2級》 ウ. 実教出版「簿記実務検定 模擬問題集 2級」 エ. 教師作成プリント				
その他	補習 進度・習熟度について判断し、必要に応じて行う。				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	決算	決算整理(その2) 財務諸表の作成 5伝票制による記帳	14	3級の決算整理事項との違いを理解し、その効果について考えながら学習する。	始業式
5	本支店会計	本支店間の取引 本支店財務諸表の合併	14	具体的な取引内容をイメージしながら記帳練習を行い、応用力の習得も行う。	
6	会計処理の合理化	特殊仕訳帳	17	普通の仕訳帳との違い、合理性を理解し、発展的思考を育てる。	期末考査
7		特殊仕訳帳	14	普通の仕訳帳との違い、合理性を理解し、発展的思考を育てる。	終業式
8	特殊な取引の記帳	特殊な商品売買の記帳	7	具体的な取引内容をイメージしながら記帳練習を行い、応用力の習得も行う。	始業式
9		特殊な手形取引の記帳	17		
10	株式会社会計	株式会社の取引	18	個人企業との規模の違いと、それに伴う記帳内容の変化についての理解を図る。	中間考査
11	総復習・演習	模擬問題 過去の検定問題	18	総復習を行うことによって、8ヶ月間の学習内容を整理・理解する。	期末考査
12			14		終業式
1	総復習・演習 検定試験受験		12	演習によって記帳に習熟し、検定試験の合格を目指す。	始業式 卒業考査 全商簿記検定
2					期末考査
3					卒業式 終業式

教 科 名	商業	科 目 名	課題研究		単 位 数	3 単位
対象学年	第3年普通科総合選択アート群		履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	デザインの基礎・表現・実際を学習・習得します。					
学習内容	衣食住に必要なデザインを学びます。					
学習方法	基礎的技術をもとに実習・制作を行います。					
評価の観点 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については、授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し評価する。					
使用教材	実教出版「コンピュータデザイン」					
その他	補習（進度・習熟度に応じて実習中心に補習を行う）					
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学習内容	時間	学習のポイント	学校行事	備考
4	造形の基礎	デザインとは、何かを学ぶ	7	デザインがもたらすものを理解させる	始業式	
5	造形の要素	形態・色・材質感・空間・時間	13	造形の要素を理解させる	中間考查	
6	造形の構成	構成の基本	10	数理的秩序・調和を理解させる		
7	観察から表現へ	観察 表現の課程と技法	9	観察から表現する	期末考查 終業式 夏期講座	
8	観察から表現へ	観察 表現の課程と技法	3	観察から表現する	始業式	
9	メッセージと表現	記号による意味	12	表現アイデアの手法		
10	身近な生活のデザイン	自分をデザインする	14	自分をデザインする	中間考查	
11	身近な生活のデザイン	学校をデザインする	11	学校をデザインする		
12	身近な生活のデザイン	学校を情報化する	9	学校を情報化する	期末考查 終業式	
1	知らせるデザイン	広告ポスターを作る	9	作品完成・発表	始業式 卒業考查	
2	知らせるデザイン	手紙をデザインする 学級新聞をデザインする	11	手紙をデザインする 作品完成・発表		

教科名	商 業	科目名	総合実践	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 総合選択コース・ビジネス関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	この科目は広く商業科で学んだ知識や各種の技術を実際に自分達で実践して見るという実習形式の授業で各科目で学んだ学習内容の定着を図ると同時に、挨拶・言葉遣いを始め・自主性・積極性・責任感・協調性など就業(社会生活)の基本を身に付ける事を目標としている。				
学習内容の概要	各自がペアを組んで模擬の会社を設立し、売買取引や経費の支払いなどそれに付随する取引をPC上で行い、それを各自で会計処理し決算まで協力して行う。				
学習方法	システム・フューチャー社製の総合実践授業支援ソフト、「スーパー実践くんWEB版」を使用し、見積依頼書から代金決済まで、また、経費の支払いや付随する業務を体系的に学習し、PCで会計処理を行い、決算に至る。				
評価の観点・評価方法	規定に従い、各学期は中間・期末の考查点と一部、考查に代替する提出課題及び平常点・出席点で評価する。平常点20点は意欲・態度、知識・技術、創意工夫等の観点別で評価する。				
使用教材	教科書(自主教材)・補助プリント				
その他	課題の提出は単位認定の必修事項とする				

年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	総合実践について 概要説明 導入授業	学習に当たっての目標・注意事項 授業を行うに当たっての一般的な 知識や心構えの指導	9	ペアを組んだ実習授業の意味 を理解させると共に、必要な 事柄について、指導する。	始業式
5	機器の使用説明 同時同業取引	機械やソフトウェアの使用説明 取引の説明後に取引 (研究授業を実施した場合変更あり)	9	機械やソフトの使い方を覚える 取引の流れについて覚える	中間考査
6	同時同業取引 決算指導	商品売買・他取引 決算の意味や仕組み等事前指導	12	実際に教科書に従い取引を行う 決算について意味を理解する	
7	決算指導① 課題提出指導① 進んだ学習	決算諸表の作成 課題の整理などファイリング指導 模擬実践授業の一部展開	10	決算処理を行う 提出に向けて課題を整理する 模擬実践の一部を学習する	期末考査 終業式
8	決算指導① 課題提出指導① 進んだ学習	決算諸表の作成 課題の整理などファイリング 模擬実践授業の一部展開 機器の説明・調整等	4	続いて決算処理を行う 続いて提出に向けて課題を整理 模擬実践の一部を学習する	始業式
9	配置転換(ペア変更) 模擬取引導入指導	企業配置・ペア変更 模擬実践の仕組み説明 機器の使用に慣れる	12	ペアを変え協力・協調させる 模擬実践取引の流れを理解 させる	
10	模擬取引	模擬実践取引 機器の使用に慣れる	12	模擬実践取引を行う	中間考査
11	模擬取引	模擬実践取引 機器の使用に慣れる	12	模擬実践取引を行う	
12	決算指導① 課題提出指導①	決算諸表の作成 課題の整理などファイリング指導 機器の使用に慣れる	9	決算処理を行う 提出に向けて課題を整理する	期末考査 終業式
1	決算指導② 課題提出指導② 就業前指導	決算諸表の作成 課題の整理などファイリング指導 就業(社会生活)の心構え等指導 機器の使用に慣れる	9	続いて決算処理を行う 続いて提出に向けて課題を 整理する	卒業式 期末考査

教科名	商業	科目名	財務会計Ⅰ	単位数	4単位
対象学年	第3学年 普通科 進学コース	履修形態	選択	授業形態	講義
科目の目標	この科目は普通科進学コースの生徒に対し、3年次において全商簿記検定1級(会計)を取得することを目標としている。				
学習内容の概要	企業会計についての知識・技能を習得し、検定試験を目標とした演習等において範囲の総復習と習熟を図る。				
学習方法	分野・段階別に学習して行き、各段階における学習効果の充実を図る。生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価とし、知識・技能・思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む姿勢を客観的に判断し、20点満点で評価する。				
使用教材	ア. 実教出版「簿記実務検定 模擬問題集 1級会計」 イ. 教員作成プリント				
その他	補習はクラスの進度・習熟度について判断し、必要に応じて行う。				

年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	資産	流動資産・その他の資産 固定資産・投資その他の資産	14	各資産の意味・分類・評価を理解し、記帳法を学習する。	始業式
	負債	負債の意味と分類 流動負債 固定負債			
5	負債 純資産	固定負債 資本金 資本準備金 利益準備金	14	各負債の意味・分類を理解し、記帳方法を学習する。資本の意味・株主資本の分類と内容を学習する。	
6	貸借対照表	貸借対照表の意味と作成上の原則	17	報告式の貸借対照表の作成方法を学習する。	全商簿記検定 期末考查
7	費用収益の認識基準	費用・収益の認識の違い	14	損益計算を正しく行うために、一定期間に発生した費用と収益をいかに認識し測定するかを学習する。	終業式
8	損益計算書	損益計算書の意味と作成上の原則	7	報告式の損益計算書の作成方法を学習する。	始業式
9	損益計算書 連結会計	損益計算書の意味と作成上の原則 連結会計の概要 連結貸借対照表の作成	17	報告式の損益計算書の作成方法を学習する。 連結貸借対照表の作成方法を学習する。	
10	連結会計 総復習・演習	連結会計の概要 連結貸借対照表の作成 模擬問題 過去の検定問題	18	連結貸借対照表の作成方法を学習する。 総復習を行うことによって、学習内容を整理・理解する。	中間考查
11	総復習・演習	模擬問題 過去の検定問題	18	総復習を行うことによって、学習内容を整理・理解する。	期末考查
12	総復習・演習	模擬問題 過去の検定問題	14	演習を繰り返す行うことで、検定試験の合格を目指す。	終業式
1			11		始業式 卒業考查 全商簿記検定 学年末考查
2					
3					卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	原価計算	単位数	4 単位
対象学年	第3学年 普通科 進学コース	履修形態	選択	授業形態	講義
科目の目標	この科目は普通科進学コースの生徒に対し、3年次において全商簿記検定1級 原価計算の内容を学習し、検定資格を取得する。				
学習内容の概要	全商1級 原価計算の内容を学習し、製造業における簿記についての知識を習得する。				
学習方法	帳簿記入に用いられる科目を、分野・段階別に学習して行き、各段階における学習効果の充実を図る。 生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価とし、知識・技能・思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む姿勢を客観的に判断し、20点満点で評価する。				
使用教材	ア. 実教出版「簿記実務検定 模擬問題集 1級原価計算」 イ. 教員作成プリント				
その他	補習 クラスの進度・習熟度について判断し、必要に応じて行う。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	原価計算の基礎 費目別計算	工業簿記の特色 原価と原価計算 工業簿記のしくみ 材料費・労務費・経費の計算と記帳	14	商業簿記との違いを理解させる 原価計算(工業簿記)の特徴を理解させる	始業式
5	個別原価計算 (部門別原価計算)	個別原価計算と製造間接費の配賦 製造間接費の予定配賦・製造勘定 部門別計算と記帳 製造部門費の予定配賦	14	各勘定科目の流れを理解させる 予定配賦の目的とその処理方法について理解させる	
6	(仕損品) 総合原価計算 (単純総合原価計算)	仕損品の処理 総合原価計算と月末仕掛品の評価 単純総合原価計算	17	仕損じの意味について理解させる 個別原価計算との違いを理解させる	全商簿記検定
7	(等級別総合原価計算)	等級別総合原価計算	14	等級別の原価按分計算方法について理解させる	期末考查 終業式
8	(組別総合原価計算)	組別総合原価計算	7	各組ごとにそれぞれ計算を行なうことを徹底させる	始業式
9	(工程別総合原価計算) (副産物・作業くずの処理)	工程別総合原価計算 副産物・作業くずの処理	17	各工程間の流れを理解させる 副産物と作業くずの違いについて理解させる	
10	製品の完成と販売 決算 工場会計の独立	製品の完成と販売の処理 決算・財務諸表 工場会計の独立	18	販売時の処理について、商業簿記との違いを理解させる 工場・本社で使用する勘定科目の違いを理解させる	中間考查
11	原価の管理	標準原価計算 直接原価計算	18	これまでの各原価計算との目的の違いを理解させる	
12	復習問題 演習	検定模擬問題	14	検定試験本番を意識させ、これまでの学習内容の復習、補充を行い、全体的な理解度の向上を図る	期末考查 終業式
1			11		始業式 全商簿記検定 卒業考查
2					学年末考查
3					卒業式 終業式

教科名	商業	科目名	情報処理	単位数	3
対象学年	第3学年 普通科 ビジネス関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	情報処理機器の活用に関する知識と技術を習得させ、ビジネスの諸活動に関する情報の意義や役割について理解させるとともに、情報を適切に収集・処理し活用する能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	ビジネスの諸活動における情報を収集・処理するための知識と技術を習得させるとともに、処理された情報を分析し活用する能力を育成する。利用するソフトの操作方法や理論に偏ることなく具体的なデータを用いた実習をさせる。				
学習方法	コンピュータ室での実習が中心になる。そのため昼休憩や放課後にも生徒が自由にコンピュータを操作できる環境を整備し提供する。ただし「情報」、「情報処理」がそのまま「コンピュータ」ではなく、情報の活用におけるコンピュータの利用を意識させる。				
評価の観点・評価方法	各学期に1回(期末)の筆記試験をおこなう。本校の内規に定める平常点20点については観点別評価を踏まえ評価する。				
使用教材	教科書、各種プリント				
その他	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定(ビジネス部門)3級合格を視野に入れながら展開する。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4 5	情報の活用と情報モラル	ビジネスと情報 情報モラル ハードウェアとソフトウェア	8	○ビジネスにおける情報の意義と役割を理解させる ○情報化社会を正しく行動するために必要なルールやモラル、マナーを身につけさせる。 ○コンピュータを利用する目的に合ったハードウェアを選択する知識と判断する力を習得させる。 ○ソフトウェアの分類や、ファイル管理などの知識を習得させる。	入学式
6 7	情報通信ネットワークとセキュリティ管理	情報通信ネットワークの概要 ビジネス情報の検索と収集 ビジネス情報の受信と発信 セキュリティ管理の基礎	8	○情報通信ネットワークの役割としくみやビジネスにおけるかかわりを理解させる。 ○情報通信ネットワークを利用して情報を検索、収集、活用する知識や技術を習得させる。 ○電子メールを利用する際の注意点について理解させる。 ○情報通信ネットワークにおける、セキュリティ管理について理解させる。	期末考査 終業式
8 9	ビジネス情報の処理と分析	基本的な表の作成 関数を利用した表の作成 グラフの作成 情報の整列・検索・抽出 ビジネスと統計	60	○表計算ソフトウェアの基本操作を習得させる。 ○合計、平均、判定、端数処理、検索などの基本的な関数の利用方法を習得させる。 ○グラフの種類と特色を理解させる。 ○表計算ソフトウェアのグラフ作成機能を利用して、目的に合ったグラフを作成する知識や技術を習得させる。 ○表計算ソフトウェアのデータベース機能を利用して情報の整理、検索、抽出をする知識や技術を習得させる。 ○ビジネス活動においての統計資料の分析方法や判断する力を習得させる。	始業式 全商情報処理検定
10 11	ビジネス文書の作成	ビジネス文書と表現 図形と画像の活用 基本文書の作成 応用文書の作成	24	○ビジネス文書の役割や基本的な構成要素、表現方法などを理解させる。 ○効果的なビジネス文書を作成するために、画像処理ソフトウェアを活用して、図形や画像の作成、編集の知識や技術を習得させる。 ○基本的な文字の入力、保存、印刷などの操作技術を習得させる。 ○特殊文字の入力、ルビ、タブ、インデント等の技法習得させる。 ○ワープロソフトを利用して、基本的な通信文書や、表計算やグラフを含んだ応用的な通信文書を作成する知識や技術を習得させる。	中間考査
12 1	プレゼンテーション	プレゼンテーションの技法 ビジネスとプレゼンテーション	9	○コミュニケーションを図る手段の一つであるプレゼンテーションの意義や必要性を理解させる。 ○プレゼンテーションの種類や準備、発表時の注意を理解させる。 ○プレゼンテーションソフトを利用して、スライドや配布資料を作成し、効果的なプレゼンテーションを行う技術を習得させる。	期末考査 終業式 始業式 全商情報処理検定

教科名	商 業	科目名	PC会計	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 総合選択コース・ビジネス関連選択	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	この科目は現代社会の会計現場にマッチした会計ソフトを使用するという実習形式の授業である。 2年次で学んだ簿記学習の内容を基に会計ソフトへの入力を行い、その定着と習熟を目標とする。				
学習内容の概要	実際の企業の現場で使われている会計処理ソフトウェアを使い、コンピューターによる会計処理を学習する。 全国経理教育協会他のPC会計に関する検定試験レベルの対応能力の定着を目指す				
学習方法	市販の会計処理ソフトである「弥生会計」の学校教育向けパッケージ弥生スクールを導入し、最新の環境の 会計処理ソフトウェアを使用し、コンピューター会計による起票・記帳・決算の流れを学習する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、各学期は中間・期末の考查点と一部、考查に代替する提出課題及び平常点・出席点で 評価する。平常点20点は意欲・態度、知識・技術、創意工夫等の観点別で評価する。				
使用教材	問題集・自主作成教材				
その他	提出課題の一部にレポート・入力データを課す事もある				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	概要説明 導入授業	学習に当たっての目標・注意事項 授業を行うに当たっての一般的な 知識や心構えの指導 簿記の簡単な復習	9	機械やソフトの使い方を覚える 起票・記帳の仕方について 覚える	始業式
5	ソフトの使用説明 企業活動と会計処理 会計ソフトの操作	簿記の簡単な復習 ソフトウェアの使用説明	10	起票・記帳 補助勘定科目について理解 する	中間考查
6	会計ソフトの操作 記帳演習	記帳練習と入力練習	12	起票・記帳 補助勘定科目について理解 する	
7	企業の業務と会計処理 記帳演習	記帳練習と入力練習	9	起票・記帳 補助勘定科目について理解 する	期末考查 終業式
8	企業の業務と会計処理 記帳演習 レポート作成	記帳練習と入力練習	3	1学期の遅れがある者は 調整する	始業式
9	記帳演習 データの入力・集計	入力練習と集計結果の読み取り	12	主に起票・記帳練習	
10	記帳演習 データの入力・集計	入力練習と集計結果の読み取り	12	総合的な起票・記帳演習	中間考查
11	記帳演習 データの入力・集計	総合問題による演習と筆記問題	12	総合的な起票・記帳演習	
12	記帳演習	総合問題による演習と筆記問題	9	総合的な起票・記帳演習	期末考查 終業式
1	コンピュータ会計の 定着指導	コンピュータ会計の振り返り	12	検定模擬問題を参考に コンピュータ会計の定着指導 を行う	始業式 卒業考查

教科名		商 業	科目名	ビジネスマナーⅡ	単位数	3単位
対 象 学 年	第3学年 総合選択コース ビジネス関連選択		履修形態	選択	授業形態	講義
科目の目標		職場において必要とされるマナー、大人としての嗜みについて、2年時に学習したビジネスマナーの内容をより深く学習するとともに、社会に出る直前の生徒に職業意識の高揚を図る。				
学 習 内 容 の 要 概		秘書検定2級の内容を通じて働く上で必要な知識、技能等を身につける。 実社会に出た上で必要とされるマナーについて詳しく学ぶ。				
学 習 方 法		座学による学習。单元ごとに問題を与え、理解度を図る。				
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法		規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は観点別評価で算出する。				
使 用 教 材		自主教材テキスト『ビジネスマナー』				
そ の 他		原則的に補習は行わない。 秘書検定2級取得も目標のひとつとする。（受験は任意）				
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	秘書検定2級対策	筆記問題対策 文書に関する問題 郵便に関する問題	9	2年次に学習した3級の範囲に加え、新たに 出題される語句を説明し、具体例を 挙げながら理解させる。	始業式	
5	秘書検定2級対策	筆記問題対策 言葉遣いに関する問題 慶弔に関する問題	12		中間考査	
6	秘書検定2級対策	模擬問題を活用 過去問題を解く グループ学習	12	検定に向けて、過去問題を活用し幅 広く復習する。場合によっては少人 数のグループを組み、互いに意見を 交わしながら主体的に取り組み理解 させる。	秘書検定 期末考査	
7	秘書検定2級 総復習	全範囲から厳選した問題に 取り組む	9	秘書検定2級の全範囲の中から、特 に今後の実社会で重要となる項目を 厳選して取り上げ理解させる	終業式 夏期補習	
8	仕事の進め方	来客応対の基本	3	来客を迎える際のモノと心の準備を 理解させる。	始業式	
9	仕事の進め方	訪問のマナー 席次の基本 会議の基礎知識	12	訪問の仕方からあらゆる場所におけ る席次、会議の種類、エチケットに ついて理解させる。		
10	仕事の進め方	ビジネス文書 ・文書の基本、書き方 ・社外文書の慣用句 ・ビジネスレター	12	前文、本文、末文といった基本を習 得し、分かりやすい文書の作成を理 解させる。	中間考査	
11	仕事の進め方	・文書の整理、保管 ・封筒、葉書の書き方 ・文書の受診、発信	9	更にビジネス文書の基本的なことを 理解させる。	期末考査	
12	仕事の進め方	職場の人間関係 ・良い人間関係を作る ・好かれる人への努力 ・こんな人は嫌われる	9	社会人として必要な言葉、行動、態 度を理解させる。	終業式	
1	知っておきたい業 務知識	給与 ・給与のしくみ ・賞与 税金 ・給与に関する税金	9	給与所得者となる自覚を促し基本的 なことを理解させる。	始業式 卒業考査	
2	知っておきたい業 務知識	保険 ・健康保険 ・厚生年金保険 ・雇用保険	12	社会人として必要な知識である、保 険の制度について理解させる。		
3					卒業式	

教科名		商 業	科目名	ビジネスマナーⅡ	単位数	3単位
対 象 学 年	第3学年 総合選択コース 生活関連選択		履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標		職場において必要とされるマナー、大人としての嗜みについて、2年時に学習したビジネスマナーの内容をより深く学習するとともに、社会に出る直前の生徒に職業意識の高揚を図る。				
学 習 内 容 の 要 概		秘書検定2級の内容を通じて働く上で必要な知識、技能等を身につける。 実社会に出た上で必要とされるマナーについて詳しく学ぶ。				
学 習 方 法		座学による学習。单元ごとに問題を与え、理解度を図る。				
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法		規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は観点別評価で算出する。				
使 用 教 材		自主教材テキスト『ビジネスマナー』				
そ の 他		原則的に補習は行わない。 秘書検定2級取得も目標のひとつとする。（受験は任意）				
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント		主な学校行事
4	秘書検定2級対策	筆記問題対策 文書に関する問題 郵便に関する問題	9	2年次に学習した3級の範囲に加え、新たに 出題される語句を説明し、具体例を 挙げながら理解させる。		始業式
5	秘書検定2級対策	筆記問題対策 言葉遣いに関する問題 慶弔に関する問題	12			中間考査
6	秘書検定2級対策	模擬問題を活用 過去問題を解く グループ学習	12	検定に向けて、過去問題を活用し幅 広く復習する。場合によっては少人 数のグループを組み、互いに意見を 交わしながら主体的に取り組み理解 させる。		秘書検定 期末考査
7	秘書検定2級 総復習	全範囲から厳選した問題に 取り組む	9	秘書検定2級の全範囲の中から、特 に今後の実社会で重要となる項目を 厳選して取り上げ理解させる		終業式 夏期補習
8	仕事の進め方	来客応対の基本	3	来客を迎える際のモノと心の準備を 理解させる。		始業式
9	仕事の進め方	訪問のマナー 席次の基本 会議の基礎知識	12	訪問の仕方からあらゆる場所におけ る席次、会議の種類、エチケットに ついて理解させる。		
10	仕事の進め方	ビジネス文書 ・文書の基本、書き方 ・社外文書の慣用句 ・ビジネスレター	12	前文、本文、末文といった基本を習 得し、分かりやすい文書の作成を理 解させる。		中間考査
11	仕事の進め方	・文書の整理、保管 ・封筒、葉書の書き方 ・文書の受診、発信	9	更にビジネス文書の基本的なことを 理解させる。		期末考査
12	仕事の進め方	職場の人間関係 ・良い人間関係を作る ・好かれる人への努力 ・こんな人は嫌われる	9	社会人として必要な言葉、行動、態 度を理解させる。		終業式
1	知っておきたい業 務知識	給与 ・給与のしくみ ・賞与 税金 ・給与に関する税金	9	給与所得者となる自覚を促し基本的 なことを理解させる。		始業式 卒業考査
2	知っておきたい業 務知識	保険 ・健康保険 ・厚生年金保険 ・雇用保険	12	社会人として必要な知識である、保 険の制度について理解させる。		
3						卒業式

教科名		商 業	科目名	文書デザイン	単位数	3単位	
対 象 学 年		第3学年 総合選択 ビジネス		履修形態	選択	授業形態	実 習
科 目 の 目 標		文書作成にかかわる技術や専門知識を習得する。 タッチタイピングの技術を習得する。 文書の作成から管理までをできるようにする。					
学 習 内 容 の 要 概		文書作成ソフト(Microsoft Word)を用いて様々な文書を作成する。 作成した文書を各自で管理する。					
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法		授業中の課題・実習などの提出状況及びその内容 授業に対する取り組み方 定期考査の得点と出席状況					
使 用 教 材		自主教材					
年 間 授 業 計 画							
月	項 目		学 習 内 容		時間	学習のポイント	主な学校行事
4	文書の役割 ビジネス文書の構成		タッチタイピング ビジネス文書の作成		9	身近な文書と、その役割を知る。 基本的な操作と、簡単な文字の入力	始業式
5	文書の編集		文字の修正・移動・コピー ページレイアウトの設定 文字書式 段落書式		9	基本的な操作と、それを活用した 文書の作成をする。 基本的な作表機能を学習し、習得 させる。	中間考査
6	表の作成と編集		インデント タブとリーダー 箇条書きと段落番号 表作成		12		期末考査
表の編集			12	終業式			
8			表の編集		3		応用的な作表技術を学習し、習得 させる。
9			表の編集		12		
10	グラフィックス		テキストボックス 図形の作製 ワードアート クリップアート		12	様々なグラフィックスを学習し、 効果的な文書を作成できるように する。	中間考査
11	書式設定		文字列とオブジェクトの配置 ドロップキャップ 書式スタイル 段組み		12	様々な編集機能を学習し、効果的 な文書を作成できるようにする。	期末考査
12	図表とグラフ		セクション区切り SmartArt グラフィック グラフの作成		9	与えられたデータを参考にし、 Excelを活用したグラフの作成 をする。	終業式
1	表紙		表紙の作成 ヘッダーとフッター		9	目的に応じたさまざまな文書 の作成ができるようにする。	始業式 卒業考査
2	応用				12		
3							卒業式

教科名	商業	科目名	税務会計	単位数	3単位
対象学年	第2学年 普通科総合選択 ビジネスコース	履修形態	必修	授業形態	講義
科目の目標	全国経理教育協会主催 所得税法3級の取得を目指す。				
学習内容の概要	検定試験を目標とした演習等において確定申告書の作成の習熟を図る。				
学習方法	教師作成プリントを中心に、学習を進める。生徒へは、不明な点等の質問を積極的に行うよう指示し、啓発的な学習となるよう指導する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については観点別評価とし、知識・技能・思考・判断・表現・主体的に学習に取り組む姿勢を客観的に判断し、20点満点で評価する。				
使用教材	ア. 教師作成プリント イ. 所得税法3級直前模試				
その他	補習 進度・習熟度について判断し、必要に応じて行う。				
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	所得税の概要	所得の意義 所得の種類と所得税計算の仕組み 源泉徴収制度 青色申告制度	7	所得の意義や種類・所得税計算の簡単な仕組みを理解する。	始業式
5	所得税の概要	所得の意義 所得の種類と所得税計算の仕組み 源泉徴収制度 青色申告制度	7	源泉徴収制度・青色申告制度の意味を理解する。	
6	所得内容とその計算方法	利子所得 給与所得 配当所得 退職所得 不動産所得 山林所得 事業所得 譲渡所得 一時所得 雑所得	8	それぞれの所得の計算方法を理解し、習熟する。	
7	所得控除と課税総所得金額	所得控除の意義 所得控除の種類	7	所得控除の種類と控除額の計算を理解する。	期末考査 終業式
8	所得控除と課税総所得金額	総所得金額の計算	4	所得控除の種類と控除額の計算を理解する。	始業式
9	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	8	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	
10	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	9	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	中間考査 所得税法3級受験
11	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	9	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	
12	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	7	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	期末考査 終業式
1	検定模擬	所得税法3級の総まとめ	6	これまでの学習を踏まえて、検定模擬の習熟を図る。	始業式 全商簿記検定
2					所得税法3級受験 期末考査
3					卒業式 終業式

教科名	商 業	科目名	ビジネス知識と法	単位数	3単位
対 象 学 年	第 3 学 年 総合選択コース ビジネス関連選択	履修形態	選択	授業形態	講義
科目の目標	○主に民法の条文が生かされる事例を教材として活用し、学習内容の具体性を伴う展開を心がけ、生徒の興味関心を育てる。 ○社会に出る直前の生徒に、労働法により守られている労働者の権利について基本的知識を身につけさせる。				
学 習 内 容 の 要 概	○ビジネスに関する知識を多角的に学ばせることと並行して、それに関連する法律関係について事例を通して学ばせる。 ○労働基準法の内容を取り扱い、働くということが法的な観点から見てどのようなものなのかを理解させる。				
学 習 方 法	座学による学習。单元ごとに問題を与え、理解度を図る。				
評 価 の 観 点 ・ 評 価 方 法	規定に従い、一学期、二学期、三学期とも定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。 平常点は観点別評価による。				
使 用 教 材	配布プリント 自主教材テキスト『仕事と労働法』				
そ の 他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	物と財産権	物の種類 物と物との関係 相隣関係 用益物権	9	物の分類について、その区別と区別することの法律上の意味を理解させる。 所有権について説明した後、その制限としての相隣関係を理解させ	始業式
5	財産権の変動 不法行為	所有権が取得できる特別な場合 一般の不法行為 無過失責任 特殊な不法行為	12	財産権の変動する制度について、その制度の趣旨や内容を理解させ 不法行為の意義や一般の不法行為の成立要件について理解させる。 特殊な不法行為について、その責任の根拠を考えさせ理解させる。	中間考査
6	不法行為	不法行為と損害賠償	12	損害賠償の性質や範囲について理解させる。 過失責任の意義と内容を理解させる。	
7	不法行為 グローバルマーケティング	不法行為と損害賠償 適合理化と法律関係	9	不当利得について、例題を挙げながら理解させる。 例題を挙げながら、現地適合理化と法律関係について考えさせる。	期末考査 終業式
8	労働基準法とは	労働基準法と労働法	3	労働基準法の概略について理解させる。 様々な労働法について理解させ	始業式
9	労働者とは？使用者とは？ 労働契約 就業規則	労基法上の労働者、使用者 労働契約とは 就業規則の作成について	12	労基法に定める労働者、使用者の違いについて理解させる。 法的な観点から労働契約、就業規則について理解させる。	
10	労使協定と労働協約 内定と試用期間 賃金	労使協定とは 内定とは 賃金とは	12	労使協定、労働協約の概略について理解させる。 内定、試用期間について理解させる。 賃金支払の5原則等について理解させる。	中間考査
11	労働時間と休憩 休日と休暇 労災保険	労働時間について 法定休日、年次有給休暇について 各種給付について	9	労働時間と36協定について理解させ 法定休日や年次有給休暇の概略について理解させる。 労災保険の各種給付、通勤災害について理解させる。	
12	労働組合 人事異動	労働組合とは 人事異動の種類	9	労働組合と労働三権について理解させる。 人事異動の種類について理解させる。	期末考査 終業式
1	懲戒処分 ふみこんだ学習	懲戒処分の種類 発展学習	9	各種懲戒処分の種類とその内容について理解させる。 ビジネス実務法務検定や社会保険労務士試験において過去に出題された問題を取り上げながら、労働法制について深く学ばせる。	始業式 卒業考査
2	ふみこんだ学習	発展学習	12	ビジネス実務法務検定や社会保険労務士試験において過去に出題された問題を取り上げながら、労働法制について深く学ばせる。	
3					卒業式

教科名	家庭	科目名	課題研究	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 生活群	履修形態	選択	授業形態	講義・実習
科目の目標	この科目は調理実習や事例研究などの学習をとおり、専門的な知識・技術の深化・総合化を図るとともに、実践的に学習することにより課題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を育成することを目標とする。				
学習内容の概要	食物、調理についての知識、技術をさらに向上させ、家庭の食生活をよりよくしていくために必要な行動を考え、実践していく。				
学習方法	テキストのみではなく、関連する資料・VTRの使用及び体験学習を通し、生徒に興味・関心を持たせながら、食生活を充実させるための知識や技術を身につけさせる。				
評価の観点・ 評価方法	実技・実習と定期考査、平常点・出席点で評価する。平常点20点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3項目で評価する。				
使用教材	学習プリント、VTR				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	・調理技術を高める	・きゅうりの半月切りの練習 ・きゅうりを使ったレシピづくり、調理実習 ・計量の仕方、食品の概量	4 4 3	・半月切りの正しい切り方を知り、速く正確に切ることができるようにする。 ・正しい計量の仕方を知る。 ・食品の概量を知る。	始業式
5	・調理技術を高める ・地域の食材を使っ て	・食材の切り方、飾り切り ・地産地消のレシピづくり、実習	4 7	・様々な切り方が正しくできるようにする。 ・地域の食材を使ったレシピを考え、調理する。	中間考査
6	・アレルギー対応食	・食品アレルギーについて ・アレルギー食材を利用しないレシピづくり、実習	3 8	・食品アレルギーについて知る ・アレルギー食材の代わりに別の食材を使ってできるレシピを考え、調理する。	県総体 期末考査
7	・料理検定学習	・料理検定5、4級の学習	11	・料理検定5級～3級のレベルの知識を身につける	期末考査 スポーツ祭 終業式
8	・料理検定学習	・料理検定4級の学習	3		始業式
9	・料理検定学習	・料理検定4、3級の学習	13		
10	・郷土料理	・各地の郷土料理調べ ・住んでいる地域の郷土料理のアレンジ レシピを考える ・郷土料理 調理実習	3 7 3	・郷土料理を調べる ・住んでいる地域の郷土料理をアレンジしたもの を考え、実習する。	学校祭 中間考査
11	・栄養計算	・食品成分表の使い方 ・栄養計算 ・年代別に必要な栄養量 ・スポーツ選手に必要な栄養量	3 6 2 2	・食品成分表を使い、栄養計算をする。 ・様々な年代や状況に応じた栄養量を知る。	期末考査
12	・新しい食材	・近年新しく栽培、生産されている食材について ・新しい食材を使ったレシピづくり、実習	4 7	・最近生産され始めた野菜について知り、新しい料理レシピを考え、実習する。	期末考査 終業式
1	・自分の食生活の見直し	・自分や家族の食生活を振り返り、改善すべきこととその方法を探す。	11	・自分や家族の食生活を見直し、改善するために自分ができることを考え、実践する。	始業式 卒業考査
2					
3					卒業式

教科名	家庭	科目名	課題研究	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科総合選択コース 生活関連選択	履修形態	選択	授業形態	分割授業
科目の目標	この科目は介護演習や事例研究などの学習をとおして、専門的な知識・技術の深化・総合化を図るとともに、実践的に学習することにより課題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を育成することを目指す。				
学習内容の概要	福祉のなり立ちと仕組みについて学び、また、コミュニケーション技術を高めるために手話や点字に関する知識を深めていく。				
学習方法	テキストのみではなく、関連する資料・VTRの使用及び外部講師等による体験学習を通し、生徒に興味・関心を持たせながら、役に立つ知識や技術を身につけさせる。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の観点から評価する。				
使用教材	VTR(やさしくわかる介護技術シリーズ)一橋出版				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	・暮らしやすい生活環境をめざして	・少子高齢社会と共生社会への道	11	・少子高齢社会の問題点をさぐり、今後私たちがどんなことに取り組むべきか考える。	始業式
5	・健康と自立をめざして	・高齢者の健康と自立 ・障がい者が生活の不自由を克服する道	6 5	・自立生活に必要な事柄を学習する。	中間考査
6	・子どもの福祉 ・安全・安心・快適な住まい	・少子化対策について ・児童福祉政策について ・生活行為別に見る安全・安心・快適なすまい	4 4 4	・子育てのための政策を知る ・快適に住もうためにどういう工夫ができるか考える。	県総体
7	・バリアフリーとユニバーサルデザイン ・手話	・バリアフリーとユニバーサルデザインを考える ・手話による自己表現	6 5	・バリアフリーとユニバーサルデザインの違いを知り、町のどのような所でどのように工夫されているかを知る。 ・手話で自分を表現する	期末考査 スポーツ祭 終業式
8	・バリアフリーとユニバーサルデザイン	・生活を支えるさまざまな用具	3	・福祉用具について、実物を用いながら学習していく。	始業式
9			13		
10	・安心できる住生活とまちづくり	・ライフスタイルの多様化と住まい ・安心して暮らせるまちづくり	7 6	・多様化している住まい方について学習する。 ・大人も子供もくらしやすい街づくりについて考える	学校祭 中間考査
11	・食生活の改善	・高齢者の食生活の改善方法を考える	13	・高齢者の食生活の改善法を考え、実践してみる。	期末考査
12	・点字	・点字の打ち方、読み方	11	・点字の意味を学習する。 ・点字の打ち方と読み方が違うことを理解する。 ・点字の打ち方を知る。	期末考査 終業式
1	・点字	・点字の打ち方、読み方	10	・文章を打つ時のルールを学習する。	始業式 卒業考査
2					
3					卒業式

教科名	家庭	科目名	課題研究	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 ビジネス総合科 生活福祉コース	履修形態	選択	授業形態	講義・実習
科目の目標	被服構成の基礎、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得させ被服を創造的に制作する能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	制作を通じて、道具の適切な扱い方や基礎的な裁縫技術の習得を目指す。				
学習方法	関連する資料・VTRの使用及び外部講師等による体験学習を通し、生徒に興味・関心を持たせながら、役に立つ知識や技術を身につけさせる。				
評価の観点・ 評価方法	ファッション造形への関心、意欲、態度、技能、知識、理解など観点別に評価する。 規定に従い、1学期・2学期・3学期とも作品点と平常点と出欠点で評価する。				
使用教材					
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	被服構成 被服材料	・着心地のよい衣服をつくるためには、人体の構造や機能、動作時の変化に対応したゆるみ、性別や年齢による体型の変化等を考慮しなければならないことを理解する。	12		始業式 入学式 新入生合宿
5			12		中間考査
6	和服の製作 ゆかたの製作	くりこし 背縫い	12	・簡単な和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。	県総体 期末考査
7		おくみつけ わきぬい 裾縫い えりつけ	11		期末考査 スポーツ祭 終業式 夏期補習
8			3		始業式
9		そでつけ	12		
10	洋服の制作 パジャマズボンの制作	裁断・しるしつけ	12		・下半身をおおう衣服の構成と動作への適応について理解をする。
11			12	期末考査	
12	パジャマ上着の制作	裁断・しるしつけ 肩を縫う えりつけ そでつけ	10	・上半身をおおう衣服の構成と動作への適応について理解する。	
1		わきを縫う すそのしまつ	9		始業式 推薦入試 卒業考査 一般入試
2	・エピローグ、まとめ	・まとめ	3	・1年間を振り返る。	期末考査
3					卒業式 終業式

教科名		家庭	科目名	子どもの発達と保育	単位数	2 単位	
対象学年		第3学年 普通科総合選択コース 生活関連選択		履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標		子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。					
学習内容の概要		1、子どもの発達の特性 2、子どもの発達の過程 3、子どもの生活 4、子どもの保育 5、子どもの福祉					
学習方法		・教科書を基にした講義や保育に関する実習を通して、子どもの心身の発達の特性や過程及び保育に関する知識や技術の習得を目指す。 ・授業で身に付けた保育に関する知識や技術を保育体験実習や日常生活での子どものふれあいの中で生かし、子育て支援に寄与する能力と態度を養うことを目指す。					
評価の観点・評価方法		・平常点の評価の観点は①子どもの発達や保育に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得、②生活課題を主体的に解決するための思考・判断・表現、③子どもの発達と保育に関して主体的に学習に取り組む態度、の3項目とする。 ・評価の方法は、規定に従い定期考査の成績、出席状況、平常点を各学期ごとにまとめる。					
使用教材		・子どもの発達と保育（実教出版） ・課題プリント					
年 間 授 業 計 画							
月	項 目	学 習 内 容		時間	学習のポイント		主な学校行事
4	子どもの発達の特性	1、発達と乳幼児期の意義 2、発達と保育環境 3、児童観と発達観		6	・人間の発達に関心をもち、乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であること、親を中心とした身近な人とのかわりにより心が安定し、考え方・感じ方・行動の仕方などが発達していくことを理解する。 ・児童観、発達観は時代背景などにより変化していること、子どもの人権が保障されるようになった経過を理解する。		始業式
	子どもの発達の過程	1、子どもの発育		10	・胎児の発育について理解し、生命誕生にかかわる母体環境の重要性を知る。 ・乳幼児の身体発育の特徴と傾向、生理的特徴、養護の重要性を理解する。 ・発育の評価方法を学び、乳幼児期は発育の個人差が大きいことを理解する。		
5							
6	子どもの生活	2、子どもの精神発達		4	・発達における方向性や順序性の共通性を理解する。 ・精神発達の特徴を学び、乳幼児期が人格形成上重要な時期であることを理解する。 ・精神発達のためには、外界からの刺激、特に保育者からの働きかけと意欲を高める環境作りが大切であることを理解する。		
		3、人間関係の発達		3	・乳幼児期は、特に基本的人間関係の樹立のために「愛着」が重要であり、子どもの「泣く」「笑う」などの行動に適切にこたえることの大切さを理解する。 ・家族や友だちなど多くの人とのかわりによって人間関係を広げ、自立し社会的な態度を身につけていくことを理解する。 ・「第一反抗期」と「自我」について考え、子どもの問題行動と家庭環境とのかわりを理解する。		
7		1、生活と養護		12	・乳幼児の生活の特徴を学び、健康を保持増進し、順調な成長を促す上で、発育・発達に応じた養護が必要なことを理解する。		期末考査 終業式
8					・乳幼児の食生活は発育や発達に及ぼす影響が大きいことを学び、母乳栄養や離乳食の重要性を理解する。		
9		2、子どもの遊び		5	・乳幼児は遊びを通して発育・発達することを理解し、保育者が発達に合わせて遊びをはたらきかけることの大切さを学ぶ。		
		3、生活習慣の形成		4	・生活習慣形成の意義と重要性を理解し、乳幼児の個人差に配慮すること、基本的な生活習慣を身につけるためには、家族や保育者の援助が必要なことを学ぶ。 ・社会的な生活習慣は、社会のルールや、人とのかわりの中で身につけていくことを理解する。		
10	子どもの保育	4、健康管理と事故防止		8	・日常の健康状態の観察など、乳幼児の健康を守るための保護者の役割、乳幼児の病気の特徴や定期健康診査、予防接種などについて理解する。 ・乳幼児の成長段階における事故の実態と原因などを学習し、安全教育のために保育者が努めなければならないことを理解する。		中間考査
		1、保育の意義と重要性		2	・保育の目標は、適切に養護しながら教育的にかかわることであり、子ども自身の成長・発達と援助、養護することであることを理解する。 ・子どもが育つ環境の変化を資料などをもとに学び、子どもにとって望ましい環境とは何かを考える。		
11		2、家庭保育と集団保育		2	・家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を学び、子どもの成長・発達に両方が必要であることを理解する。 ・幼稚園と保育所・認定こども園について学び、集団保育の課題について理解する。		期末考査
		3、保育の方法		10	・集団保育の実習を通して、乳幼児の生活や行動などを観察し、適切なかわり方を身につける。		
12	子どもの福祉	1、子どもの福祉		3	・児童福祉の理念や法律、制度について学び、単に保護するのみではなく、次代を担う児童の健全育成を目的としていることを理解する。 ・児童福祉機関や施設の種類と目的を学び、児童と家庭に対する社会的援助について理解する。		終業式 始業式
1		2、子育て支援		3	・児童をとりまく環境の変化や子育て支援の現状を知り、子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要があることを理解し、子育て支援の課題と展望を考える。		卒業考査

教科名	家庭	科目名	子ども文化	単位数	2単位
対象学年	第3学年 総合選択コース 生活関連選択	履修形態	選択	授業形態	講義・実習
科目の目標	子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財などに関する知識と技術を習得させ、児童文化の充実を図る能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	子どもの遊びの意義と重要性及び遊びの種類と発達とのかかわり、子供の表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性などを事例を通して具体的に学ぶ				
学習方法	教科書のみではなく、関連する資料・VTRの使用及び外部講師等による体験学習を通し、生徒に興味・関心を持たせながら、役に立つ知識や技術を身につけさせる。				
評価の観点・評価方法	知識や技術を応用発展することができるかを定期考査、授業態度、提出物等を通して総合的に評価する。				
使用教材	教科書「子ども文化」(文部科学省)				
その他					

年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	オリエンテーション 児童文化とは何だろう	児童文化とは 児童文化を歴史から考える	4	・子どものための文化活動、児童文化財、児童文化施設などの重要性について理解する ・社会の変化に伴い、子供の遊びの環境が変化する中での児童文化の役割について考える。 ・子供の遊びの重要性及び遊びの種類と発達のかかわりについて理解する。また、伝承遊びについて知るとともに、遊びと遊具のかかわり、遊具の遊び方や与え方などを学ぶ。 ・玩具の制作 ・子どもの表現活動の意義とそれを支える児童文化財の重要性について学ぶ。 ・絵本の意義と特徴について学ぶ。 ・紙芝居を演じたり、絵本の読み聞かせを行う。 ・絵本の製作 ・テレビ、キャラクター、ゲームについて理解を深める。 ・折り紙などを利用しながら年中行事について考える。 ・子どもの健全な遊びや表現活動を支える代表的な施設を取り上げ、その意義と活用について考える。	
5	子どもと遊び	遊びの意義と発達 遊びの現状 遊びと遊具・玩具 遊びと伝承	6		中間考査
6	子どもの表現活動	子どもの表現活動のおもしろさ 造る・描く	8		期末考査
7		言語表現活動	4		終業式
8			2		
9	子どもと文学	歌う・踊る・演奏する 素話 紙芝居	8		
10		絵本	8		学校祭 中間考査
11		児童文学 アニメーション	8		期末考査
12	現代の子どもの生活と文化	テレビ・キャラクターゲーム	4		終業式 始業式
1		子どもと年中行事	6		
2	児童文化を支える活動	児童文化活動	6		期末考査
3					卒業式

教科名	家庭	科目名	食品	単位数	2 単位	
対象学年	第3学年 普通科総合選択コース 生活関連選択		履修形態	選択	授業形態	講義・実習
科目の目標	食品の分類とその特徴、食品の表示、食品の加工と貯蔵などに関する知識と技術を習得させ、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上を図る能力と態度を育てる。					
学習内容の概要	(1)食品の分類とその特徴 (2)食品の表示 (3)食品の加工と貯蔵 (4)食品の生産と流通					
学習方法	・食品に関する専門的な知識を身に付けるとともに、食品及び食品の加工、貯蔵に関する実習を通して、技術の習得を目指す。 ・授業で身に付けた食品に関する知識や技術を生かし、食品の適切な選択、活用による食生活の充実向上に努める。					
評価の観点・ 評価方法	・評価の観点は①食品の適切な選択、活用に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得、②食生活の中での食品の選択、活用における課題を主体的に解決するための思考・判断・表現、③食品及び食品の加工、貯蔵に関して主体的に学習に取り組む態度、の3項目とする。 ・評価の方法は、規定に従い定期考査の成績、出席状況、平常点を各学期ごとにまとめる。					
使用教材	課題プリント					
その他						
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事	
4	(1)食品の分類とその特徴	ア 食品の成分と分類	2	・食品の分類について、食品の栄養的特徴により分類した食品群と、「日本食品標準成分表」で用いられている食品の分類方法を理解する。 ・穀類、いも及びでん粉類、豆類、野菜類、果実類、きのこ類、藻類とその加工品について、代表的な食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解する。	始業式	
5		イ 植物性食品とその加工品	4		中間考査	
6		ウ 動物性食品とその加工品	6	・魚介類、肉類、卵類、乳類とその加工品について、代表的な食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解する。		
7			6		期末考査	
8			2		終業式	
9		エ 油脂	4	・植物性油脂、動物性油脂、加工油脂について、代表的な食品の栄養的特徴、調理上の性質、利用法などを理解する。	始業式	
10		オ 調味料、甘味料、香辛料及び嗜好品	8		中間考査	
11	(2)食品の表示	ア 食品の表示制度	4	・食品衛生法、健康増進法、農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律などの法規に基づく食品の表示方法について理解する。 ・生鮮食品、加工食品などの各種食品の具体的な表示方法について理解する。	期末考査	
		イ 各種食品の表示	4			
12	(3)食品の加工と貯蔵	ア 食品の加工	3	・食品加工の目的は、食味、消化、栄養、貯蔵性、流通性、利便性の向上にあること、物理的加工、化学的加工、微生物や酵素による加工について、その目的、方法、成分の変化などを理解する。 ・貯蔵の目的は変質や腐敗の防止、品質の維持にあること、乾燥・塩蔵・糖蔵・酢漬け・冷蔵・冷凍・缶詰・びん詰・くん製・殺菌・ガス置換・放射線などによる貯蔵方法について、その原理と特徴を理解する。	終業式	
		イ 食品の貯蔵	3			
1	(4)食品の生産と流通	ア 食品の流通と食料需給	3	・科学技術の進歩、高度な生産技術や加工技術の開発により、食品の生産が多様化している現状、食料生産と消費の推移、輸入状況、食料自給率などについて理解し、食料需給などの食料問題について考える。 ・主な食品の流通機構の概要や安全な食品の流通を図るための仕組み、食品のトレーサビリティシステムなどについて理解し、その機能や課題などについて考える。また、消費者ニーズに対応した流通についても関心を持つ。	始業式	
		イ 食品の流通機構	3		卒業考査	
2						
3					卒業式	

教科名	家庭	科目名	フードデザイン	単位数	3 単位
対象学年	第3学年 普通科 生活群	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食事を総合的にデザインする能力と態度を育てる。				
学習内容の概要	1. 食品の特徴 2. 料理様式とテーブルコーディネート 3. フードデザイン実習				
学習方法	・教科書を通して、食生活に関する基本的な知識を身に付けるとともに、調理の実習を通して、食品の適切な扱い方や基礎的な調理技術の習得を目指す。 ・授業で身に付けた食生活に関する知識や技術を日常生活の中で生かし、日々の食生活の改善、充実に努める。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、一学期・二学期・三学期とも、定期考査の考査点と平常点・出席点で評価する。平常点20点は知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3点で評価する。				
使用教材	フードデザイン(実教出版)、課題プリント				
その他	本科目は第2年学年で3単位、第3学年で3単位、合計6単位の履修となっている。				

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	食品の特徴 フードデザイン実習 (実習施設の 使用状況により 適宜実施)	食品の特徴と性質 牛乳と乳製品 卵	4 4	日常よく使用される食品について、食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化、また、それらの加工品について理解する。 和洋中それぞれの日常食の調理の仕方を知る 郷土料理について知る	始業式
5		フードデザイン実習① 魚介類 肉類 豆類	3 3 2		中間考査
6		フードデザイン実習② 野菜類・いも類 くだもの類・海藻類・きのこ類 穀類	3 3 3		
7		フードデザイン実習③ 砂糖・種実類・油脂類 かんてん・ゼラチン・調味料・香辛料 嗜好食品・その他の食品	3 3 2		期末考査
8		フードデザイン実習④ 食品の生産と流通 食料資源と貿易の現状 食品の流通・食品の加工	3 4		
9		料理様式と献立 日本料理	4	日本料理、西洋料理、中国料理の料理様式について、特徴や献立構成を理解する。また、それぞれの様式別の食卓構成や食卓作法、供応に伴うマナーについて理解する。 和洋中それぞれの日常食の調理の仕方を知る	始業式
10		フードデザイン実習⑤、⑥、⑦ 西洋料理	9 3		学校祭
11		フードデザイン実習⑧、⑨、⑩ 中国料理	9 3		中間考査
12		フードデザイン実習⑪、⑫、⑬ テーブルコーディネート テーブルコーディネートの要素	9 2		期末考査
1		食品の選択と調理 フードデザイン実習⑭、⑮ 食品の衛生と安全 フードデザイン実習⑯、⑰	3 6 5 6		終業式 始業式 卒業考査
2				供応食の調理方法を理解する。	オリエンテーション・自由登校
3					卒業式

教科名	情報	科目名	課題研究	単位数	3
対象学年	第3学年 情報関連 選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	プログラミングに関する知識と技術を習得させ、コンピュータの効果的な運用方法について理解させる。また、ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する態度を育てる。特に、近年急速に普及してきている動画編集の習得をさせる。				
学習内容の概要	ビジネスを実践するための基礎・基本の能力や、スペシャリストを目指すための基礎・基本となる能力を育成する。				
学習方法	プログラミングを通して論理的に問題解決するための知識と技法を習得させたのち、コンピュータを使用して実習課題を行い理解をさらに深めていく。PowerDirectorを使い、静止画、動画の加工・編集を通しコンピュータの有効利用を学ぶ。				
評価の観点・ 評価方法	前半はLinuxCにて実習点(20%～30%)とし、創作、意欲、態度を総合的に評価する。後半はPowerDirectorを基に課題作品や自主テーマ作品を制作する。本校の内規に定める平常点(20%)の部分と出席点(10%)、課題作品点(70%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	CyberLink社PowerDirectorオフィシャルブック 副教材、その他 各種プリント				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	Linux Cにて ソース作成 コンパイル デバックでの確認 など	プログラミングの基礎基本操作	10	teratermにてログイン	入学式
5				viコマンドの習得	中間考査
6				printf,scanfなど基本関数学習	
7					期末考査
8	PowerDirector の基礎	アルゴリズムC 基本プログラミング	20	if文など分岐	終業式
9					始業式
10					全商情報処理検定
11					中間考査
12	PowerDirector の基礎	・トランジション ・エフェクト ・タイトル ・トリミング ・BGM	10	応用プログラミング	期末考査
1					
2					終業式
3					始業式
4	PowerDirector の基礎	動画作成(30秒) 発表	8	アルゴリズムの学習	卒業考査
5					卒業式
6					
7					終業式
8	PowerDirector の基礎	動画作成(30秒) 発表	4	アルゴリズムの学習	卒業式
9					
10					卒業考査
11					終業式
12	PowerDirector の基礎	動画作成(60秒) 作品提出	4	アルゴリズムの学習	卒業式
1					
2					卒業考査
3					終業式

教科名	情報	科目名	情報テクノロジー	単位数	2
対象学年	第3学年 総合選択コース(情報)	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。				
学習内容の概要	内容を大別すると4つの分野からなる。1)情報を活用するための工夫と情報機器。2)情報の収集・発信と情報機器。3)情報の統合的な処理とコンピュータの活用。4)情報機器の発達と生活の変化。について実習を中心に習得する。				
学習方法	コンピュータ室での実習が中心になる。そのため昼休憩や放課後にも生徒が自由にコンピュータを操作できる環境を整備し提供する。ただし「情報テクノロジー」がそのまま「コンピュータ」ではなく、情報の活用におけるコンピュータの利用を意識させる。				
評価の観点・評価方法	各学期に1回(期末)または2回(中間・期末)の筆記試験をおこなう。本校の内規に定める平常点(20%)の部分を実習点(20%~30%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	実教出版「情報テクノロジー」・東京法令出版「パスポート 2級Excel」 副教材、その他 各種プリント				
その他	全国商業高等学校協会主催 情報処理検定2級合格を視野に入れながら展開する。				

年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	オリエンテーション コンピュータの関連知識 表計算の活用 応用知識	1年間を通した成績評価・授業内容の説明 ソフトウェアなどに関する知識	1 14	コンピュータの装置と機能等	入学式 新入生オリエンテーション
5		情報通信ネットワーク		情報モラルとセキュリティに関する知識	
		表計算ソフトウェアの活用		関数の利用と関数のネスト	中間考査
6		データベースソフトウェアの活用		リレーショナル型データベース	
		順位付けと複合条件	48	順位付けとフィルタ	
7		検索の関数		列、行方向の検索	期末考査
		文字列と数値		文字列の抽出、変換、結合 指定した文字の文字位置	終業式
8		日時・曜日の関数		棒グラフ等の作成	
9		グループ集計とクロス集計		最大・最小・件数の関数 判定・端数処理の関数	始業式 検定①
10		グラフの作成		相対番地と絶対番地(\$ 記号) 順位付けと並べ替え、文字列の抽出 文字列⇄数値 変換、文字列の長さ 日時の関数、関数のネスト	中間考査
11	実技・用語の確認	実技・用語の確認	12	検定過去問、演習問題を中心に取り組む	
12					期末考査
					終業式
1					始業式 検定② 卒業考査
2					
	卒業式				学年末考査
3					卒業式 終業式

教科名	情報	科目名	情報メディア	単位数	2
対象学年	第3学年 情報関連 選択コース	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	ビジネスの諸活動に関する情報を合理的に処理し、活用する態度を育てる。 プレゼンテーションの基礎能力を育てる。				
学習内容の概要	ビジネスを実践するための基礎・基本の能力や、スペシャリストを目指すための基礎・基本となる能力を育成する。				
学習方法	実習課題を行い理解をさらに深めていく。そのため放課後にも自由にコンピュータを使用できる環境を整備し提供する。 PowerPointをツールとして使用し画面構成等の基本を理解する。				
評価の観点・ 評価方法	年間3回の作品制作と2回の発表を行う。実習課題は、本校の内規に定める筆記試験点(70%)の部分を実習点(70%~80%)とし、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	教科書:情報メディア(実教) 副教材、その他 各種プリント				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	基礎学習	メディアの基礎	10	メディアの定義と機能	入学式
5		情報メディアの特性と活用	20	情報メディアの種類と特性	中間考査
6	プレゼンテーション	PowerPointの基本操作		プレゼンテーションとは	期末考査
7		PowerPointの応用操作	14	プレゼンテーションのテクニック	
8		PowerPoint個人作品作成①		作品①作成。課題に従って作成	終業式
9		PowerPointの応用操作	28	プレゼンテーションのテクニック	始業式
10		PowerPoint個人作品発表①		作品①発表。プレゼンテーションの実施。進行や表現の工夫。	全商情報処理検定
11		PowerPointの応用操作		プレゼンテーションの実施と反省	中間考査
12		PowerPoint個人作品作成②		作品①の改善点を踏まえ、作品②の作成。	期末考査
1		PowerPoint個人作品発表②		作品①の改善点を踏まえ、作品②の発表。また、進行・表現の再確認。	
2		PowerPoint個人作品作成③		過去の改善点を踏まえ、作品③の作成。	終業式
3					始業式
					卒業考査
					卒業式
					終業式

教科名	商業	科目名	情報デザイン	単位数	4
対象学年	第3学年 総合 選択コース/情報	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	デジタル化に伴い、情報デザインの知識は一般社会において必要不可欠になった。Photoshopはデジタル画像を扱う定番アプリケーションとして知られ、現在社会に広く流通するデジタル画像作成ツールの元となっている。Photoshopの基礎操作を中心に、デジタル画像の活用についても学習し理解する。				
学習内容の概要	Photoshopは写真補正やデジタル画像制作に優れており、これ以外のデジタル画像作成ツールと多くの共通点があり、この基礎知識と基本操作ができるように学習と実習を重ね、作品制作やそれらの活用を行う。				
学習方法	コンピュータ室での講義と実習。 実習では、デモンストレーションした作業を実際に演習し、自主制作に可能な技術を身につける。				
評価の観点・ 評価方法	各学期で課題作品を制作する。 本校の内規に定める平常点(20%)、出席点(10%)、課題作品点(70%)、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	実教出版 コンピュータデザイン 、 Photoshop&Illustrator 副教材 、その他 各種プリント等				
その他					

年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	デジタル画像の 基本知識	インターネット利用や身近なデジタルツールを例に、社会におけるデジタル画像の存在について学ぶ	40	PCモニターや、スマートフォンなど、分かりやすい例を用いる。	始業式
5	Photoshopの基礎	・Photoshopの基本操作 ・ドキュメントウィンドウ ・ペイントツール ・選択範囲		Photoshopの基本操作に重点を置き、画像編集の基本的な方法を知る。	
6					中間考査 3年進路合宿
7	Photoshopの応用	・画像の補正 ・色調補正 ・画像の合成 ・フィルタ ・ロゴの作成	50	基本操作とツールの役割を理解した上で複雑な操作を行うため、基本を忘れず作業する。	期末考査 終業式
8					
9					始業式
10					全商情報処理検定 中間考査
11	デジタル画像とインターネット	ブラウザ内で見るデジタル画像の役割を知る。自作したデジタル画像をブラウザに表示させる。		架空のインターネットサイト上に自作したデジタル画像を表示させ、見え方や役割を考えさせる。	
12	デジタル画像とインターネット	Photoshopを用いたバナーの作成とボタンからのWEBリンクをホームページビルダーを利用して学習。	16	ホームページビルダーを使うため、基本操作のみ理解する。	期末考査
1					終業式 始業式
2					卒業考査
3					卒業式 終業式

教科名	情報	科目名	表現メディアの編集と表現	単位数	2
対象学年	第3学年 総合選択コース(情報)	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	音楽の基礎知識及び音楽作成ソフトに関する知識と技術を習得させ、コンピュータによる音楽の構造を理解させる。デジタル音楽とアナログ音楽を組み合わせによる音楽の可能性・メリットなどを考えさせる。また、学習を通じ音楽のすばらしさを体感させる。				
学習内容の概要	音楽の知識と音楽作成ソフトの技術を習得する。				
学習方法	音楽の基礎知識を理解させ、音楽作成ソフト(シンガーソングライター)を使用して実習課題を作成させる。音楽作成ソフト(ボーカロイド)による単旋律による課題を作成させる。				
評価の観点・評価方法	授業内に、小テスト、簡単な演奏テストを実施する。 授業ごとに課題を課し、意欲、態度を総合的に評価する。 さらに各グループに分かれ、グループごとによる発表を行う。				
使用教材	音楽作成ソフト(シンガーソングライター・ボーカロイド) 上記に関するテキスト				
その他					

年 間 授 業 計 画

月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	音楽の基礎知識Ⅰ	音部記号を理解し、簡単な音階を歌わせる。	26	テキストによる学習	入学式
5	音楽の基礎知識Ⅱ	音符・休符の種類と長さを学習する。		小テストを実施	中間考査
6	音楽の基礎知識Ⅲ	拍子記号の意味を理解する。		小テストを実施	
7	音楽作成ソフト	楽譜の基本的な記譜法を学んだ上で、音楽作成ソフトに楽譜を入力させる。		シンガーソングライターを使用	期末考査 終業式
8	コード	コードによる響きの違い理解させ、音楽作成ソフトにコードを入力する。		シンガーソングライターを使用	始業式
9	複数の音楽作成ソフトの組み合わせ	ボーカロイドによる単旋律、シンガーソングライターによる伴奏を組み合わせ楽曲を完成させ	32	シンガーソングライター・ボーカロイドを使用	全商情報処理検定 中間考査
10	課題曲の入力	ボーカロイドによる単旋律、シンガーソングライターによる伴奏を組み合わせ楽曲を完成させ			
11					
12	グループ発表	各グループで発表し、各グループごとの音楽の違いなどを理解させる。			期末考査 終業式
1	グループ発表	各グループで発表し、各グループごとの音楽の違いなどを理解させる。	14		始業式 全商情報処理検定 卒業考査
2	まとめ	考査で音楽作成ソフトの組み合わせを行う。			学年末考査
3		これまでに学習したまとめを行い、音楽作成ソフトの音楽の構造を理解させる。			卒業式 終業式

教科名	保健体育	科目名	スポーツ概論	単位数	2 単位
対象学年	第3学年 普通科	履修形態	選択	授業形態	講義
科目の目標	「スポーツ」に関する基礎知識を学習し、生涯を通してスポーツにかかわることができる能力を育てる。				
学習内容の概要	身体に関しての基本的な構造と一般的なトレーニング方法。また、「スポーツ」に関係する事について学習する。				
学習方法	講義のかたちを中心とし、実技や外部講師の先生を招き学習する。				
評価の観点・ 評価方法	規定に従い、1学期・2学期・3学期とも筆記試験、観点別評価、出席点での評価とする。				
使用教材					
その他					
年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	オリエンテーション トレーニング科学Ⅰ	身体測定① 身体の構造	2 2 2	自らの身体部位についての理解を 深め、現在の状態を理解する。	始業式 新入生合宿
5		・ 骨格・関節・筋肉・腱について 筋収縮のエネルギー供給 筋力トレーニングの基礎	2 2 2 2	身体を形作る各構造を理解する。 身体活動のもととなるエネルギー供給 を学習する。	中間考査
6	スポーツ心理学Ⅰ	バイオメカニクス① あがり	2 2 2 2	心理的な要因によって、競技力が低下 することを理解したうえで、それを 克服することが出来ることを学習する。	期末考査
7	スポーツ選手に 発生しやすい疾病	熱中症・過換気症候群・貧血	2	スポーツ選手に起こりやすい疾病を 理解し、その対処を学習する。	終業式 夏期補習
8	トレーニング科学Ⅱ	身体測定②	2		始業式
9		トレーニング実践 ・ トレーニング計画 ・ 筋力・パワー・筋持久力 スピードトレーニング	2 2 2 2	各種の筋力トレーニング等を学習し、 実践する。このことにより、自身が 係わる競技のトレーニングを補完する ことが出来るように学習する。	
10		・ コンディショニング バイオメカニクス② ・ 数種目の活動から	2 2 2 2	専門の種目の構造の理解を深める。	学園祭 中間考査
11	スポーツ心理学Ⅱ	発達心理 行動と動機 メンタルトレーニング特別授業	2 2 2	競技活動によって起こる自身と周囲 の変化や期待を客観的に学習する。	期末考査
12		イメージトレーニング 身体測定③	2 2	メンタルトレーニングについて、外部 講師を招く。	終業式
1	スポーツによる外傷	各部位別の外傷 種目における特性	2 2 2	スポーツ活動をするにあたり、起こり やすい外傷とその対処、応急処置を 学習する。	始業式
2		応急処置	2 2		入試
	スポーツ社会	スポーツと文化・社会	2	スポーツ活動は実際に活動すること だけではなく、観る・携るなどの面から もスポーツ活動をとらえることが できるように学習する。	期末考査
3		生涯スポーツ 身体測定④	2 2 2		終業式

教科名	商業	科目名	情報メディアデザイン	単位数	4
対象学年	第3学年 総合選択コース/アート	履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	様々な情報メディアのなかで紙媒体などの印刷に重要な役割を果たす定番アプリケーションIllustratorを使用して、各種情報メディアを意識したデザインを行い、メディアならではのデザインを知り理解する。				
学習内容の概要	Illustratorは新聞雑誌や漫画コミックなど紙面デザインに優れており、この基本操作ができるように学習と実習を重ね、作品制作を行う。				
学習方法	コンピュータ室での講義と実習。 実習では、デモンストレーションした作業を実際に演習し、自主制作に可能な技術を身につける。				
評価の観点・評価方法	各学期で課題作品を制作する。 本校の内規に定める平常点(20%)、出席点(10%)、課題作品点(70%)、作品、意欲、態度を総合的に評価する。				
使用教材	実教出版 コンピュータデザイン 、 Photoshop & Illustrator 副教材 、その他 各種プリント等				
その他					

年 間 授 業 計 画					
月	項 目	学 習 内 容	時間	学習のポイント	主な学校行事
4	情報メディアの種類	さまざまな情報メディアとその役割を知り、どのようなデザインが必要とされているかを考える。	40	実際の媒体を目にしながら、メディアの役割を理解する。	始業式
5	Illustratorの基礎	・Illustratorの基本操作 ・基本図形の描画とパスの作成 ・オブジェクトの塗りと線 ・オブジェクトの編集 ・オブジェクトの装飾		Illustratorの基本操作に重点を置き、紙面デザインの基本的な方法を知る。	
6					中間考査
7					3年進路合宿
8	Illustratorの応用	・イラストの作成 ・文字の作成 ・ロゴの作成 ・地図の作成	50	基本操作とツールの役割を理解した上で複雑な操作を行うため、基本を忘れず作業する。	期末考査
9					終業式
10					始業式
11	情報メディアデザインの特徴と違い	情報メディアによって変化するデザインの特徴を理解し、それに合ったデザインを実践する。	16	Illustratorの基本操作に加え、創造性やアイデアを出しながら、独自のデザインを作る。	全商情報処理検定 中間考査
12	作品制作	課題となるメディアに適したデザインを考え、オリジナルの作品を制作する。			期末考査
1					終業式
2					始業式
3					卒業考査
					卒業式
					終業式

教 科 名	美術	科 目 名	アートⅡ		単 位 数	4 単位
対象学年	第3年普通科総合アート群		履修形態	必修	授業形態	講義・実習
科目の目標	デザインの基礎をもとに実用的なアート作品を制作・発表します。					
学習内容	デザインを中心に実用的なアートの技術を学びます。					
学習方法	基礎的技術をもとに実習・制作を行います。					
評価の観点 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し評価する。					
使用教材	実教出版「商業技術」・アイシー「ART KIT」マンガ・イラストの描き方 日本色研「カラー&ライフ」・日本色研「色彩」					
その他	補習（進度・習熟度に応じて実習中心に補習を行う）					
年 間 授 業 計 画						
月	項 目	学習内容	時間	学習のポイント	学校行事	備考
4	デザインの実習	実用的なアートを分野別にデザインする	1 2	ラフスケッチを制作する	始業式	
5	色彩の応用	色彩見本の作製 造形学習	1 5	表現する喜び 色彩の大切さ 見本の作成	中間考查	
6	漫画・ポスター シルバーアクセ サリー選択	制作計画の作成	1 6	計画案の発表・計画案の見直し		
7	小品の作成	複数の小品作成	1 2	複数の小品作成により、 完成作品の問題点を探り、改善する	期末考查 終業式 夏期講座	
8	小品見本発表	視覚学習	4	各自、見本発表	始業式	
9	作品の見直し	作品の見直し	1 6	作品の最終決定		
1 0	作品制作	漫画作品制作 ポスター シルバーアクセサリー選択	1 6	作品制作	中間考查	
1 1	作品制作	漫画作品制作	1 6	作品制作		
1 2	作品制作	漫画作品制作	1 4	作品制作	期末考查 終業式	
1	作品完成・発表 レポート提出	漫画作品完成・発表 レポート提出	1 0	作品完成 発表（米子市美術館） レポート提出	始業式 卒業考查	
2	レポート提出	レポート提出	1 4	レポート提出		

教科名	美術	科目名	マンガ・イラスト	単位数	3単位
対象学年	3学年普通科総合選択 アート群	履修形態	必修	授業形態	実習
科目の目標	マンガ・イラストの基礎的な技術の習得を目指します。				
学習内容	マンガ・イラストの基礎知識を実習を通して学びます。				
学習方法	基礎的技術をもとに実習・制作を行います。				
評価の論点 評価方法	規定に従い、中間・期末の考查点と平常点・出席点で評価する。平常点については、授業中の態度・姿勢・提出物の状況を客観的に判断し評価する。				
使用教材	アイシー「漫画・イラストの描き方入門」				
その他	補習(進度・習熟度に応じて実習中心に補習を行う)				

年間授業計画					
月	項目	学習内容	時間	学習のポイント	学校行事
4	イラストの基本	イラストの描き方	6	イラストを描く工程を実際に体験することで、道具の使い方や描き方を学ぶ	始業式
5		人物の描き方	4	頭身、男女の骨格の違い、顔の向きによる描き分けを学ぶ	中間考查
6	マンガの基本	マンガの描き方	6	マンガを描く工程を学ぶ	期末考查
7		効果や背景	4	マンガの効果や背景について学ぶ	終業式 夏期講座
8		マンガの模写	2	マンガを模写し、完成させる	始業式
9		ストーリーの作り方	8	新聞や例題から四コマ・風刺画について学ぶ	
10	マンガ・イラストの実習	ストーリーの作成	6	四コマもしくはストーリーマンガの話を考え、確認する	中間考查
11		マンガの下書き	4	実際に原稿用紙に描いていく	
12		マンガの完成	4	完成させる ただし、習熟度によっては、四コマ・八コマに切り替えさせる	期末考查 終業式
1		発表	4	完成させたものを発表する	始業式 卒業考查
2					期末考查
3					卒業式 終業式